

ツ-

「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」中間整理に基づく  
県別（地域別）会議での取りまとめについて

2020年9月17日  
四国旅客鉄道株式会社  
徳島県  
香川県  
愛媛県  
高知県

四国における鉄道ネットワークのあり方について幅広く意見交換を行うことを目的として、2017年8月に設置した「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」については、2019年10月の第五回懇談会において、中間整理がなされました。その後、中間整理に基づき、四国4県の県別会議において、地域の関係者による持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた利便性向上・利用促進策等の検討が進められ、この度、取りまとめを行いましたので、以下のとおりお知らせ致します。

### 1 県別会議

徳島県：徳島県生活交通協議会ワーキング部会  
香川県：香川県鉄道ネットワークあり方懇談会  
愛媛県：愛媛県鉄道ネットワークあり方検討会  
高知県：高知県鉄道ネットワークあり方懇談会

### 2 取りまとめ内容

別紙のとおり

### 3 その他

- ・中間整理においては、2019年度中に取りまとめることとなっておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議開催ができず、取りまとめが延期されておりました。
- ・今後、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮のうえ、施策の実施時期等を判断するとともに、施策の改善等を図っていく予定です。

#### 【参考：実施済み施策の代表事例】

- ◆鉄道とバスの共通時刻表の作成「JR四国ポケット時刻表」  
予讃線・伊予鉄南予バス、予土線・四万十交通、予土線・宇和島自動車、牟岐線・徳島バス
- ◆高松駅の発車時刻を統一（10～15時台の予讃線列車において発車時刻統一）  
高松～多度津間において、ほぼ発車時刻が統一された分かりやすいダイヤへ
- ◆「愛媛県南予地域における観光Ma a S実証実験」への取り組み  
国土交通省の新たなMa a Sの構築を牽引するモデルプロジェクト38事業に選出
- ◆徳島県内の鉄道と路線バスが1枚のきっぷで乗り降り自由な「徳島おでかけきっぷ」の発売  
徳島県公共交通応援事業による支援（土・休日1日間 3,000円）
- ◆自治体広報誌・HPへの危機意識の見える化（予土線特集）、ダイヤ改正情報等の掲載 など

# 県別会議で検討された公共交通の主な利便性向上・利用促進策

## 【愛媛県】「愛媛県鉄道ネットワークあり方検討会」

### ①生活利用の促進

- ・ノーマイカー通勤デーの推進
- ・公共交通機関のダイヤ等の広報活動
- ・H P等の充実によるダイヤや運行内容、乗りかえ情報等の提供
- ・利用者の状況にきめ細かく対応した割引制度の拡充 など

### ②観光利用の促進

- ・観光イベント等と連携した企画きっぷの造成
- ・企画列車の運行
- ・サイクリングとの連携
- ・事業者連携による企画きっぷ等の検討 など

### ③交通機関の相互連携促進

- ・鉄道やバス等が連携しやすいダイヤ等の調整
- ・M a a Sの造成の検討
- ・鉄道、バス等が連携した企画きっぷ等の造成 など

### ④その他

- ・駅、電停等のバリアフリー化の推進
- ・駅周辺施設（駐車場・駐輪場等）の整備 など

## 【香川県】「香川県鉄道ネットワークあり方懇談会」

### ①持続可能性の確保

- ・四国の新幹線整備に伴う効果等調査の実施等
- ・立地適正化計画の策定及び実施、駅周辺の開発整備等
- ・地域公共交通網形成計画の策定及び実施等
- ・鉄道とバス等による一体的な公共交通ネットワークの形成等

### ②利便性向上

- ・駅と連携したコミュニティバスの運行、G T F Sデータの活用等
- ・駅前広場整備、パーク&ライド駐車場の整備等
- ・都市圏輸送強化、パターンダイヤ導入の検討等
- ・I Cカード利用駅の拡大、新型特急気動車2700系車両の導入等
- ・駅を利用した源内改革プロジェクト、ひとの駅三本松の活用等

### ③利用促進

- ・高齢者の免許返納者に対する補助（タクシーチケット配布）等
- ・公共交通マップの作成、バス乗り方教室の開催等
- ・ALL SHIKOKU Rail Passの販売促進、Wi-Fi環境の整備等
- ・「四国はひとつ」4県連携事業の実施等

## 【高知県】「高知県鉄道ネットワークあり方懇談会」

### ◆土讃線

- ・交通事業者間のダイヤ面での連携（パターンダイヤ、大杉駅接続向上）
- ・交通事業者間の運賃面での連携の検討
- ・交通事業者間の乗継案内等での連携
- ・ダイヤ改正情報の事前共有
- ・後免駅のバリアフリー化（内方線付き点状ブロック等の整備）
- ・新型特急車両の導入（J R四国、土佐くろしお鉄道）
- ・観光列車の導入（観光列車を活用した利用促進）
- ・安和駅敷地内に「集落活動センター」整備

### ◆予土線

- ・「体験や食をテーマとしたツアーのメニュー化」の考案
- ・路線バス等と組み合わせた路線図づくり
- ・予土線などの公共交通P Rの実施検討（高齢者サロン訪問等）
- ・危機意識の見える化の実施（広報誌への掲載）
- ・J Rポケット時刻表への路線バス時刻掲載
- ・フレックスタイム制度の導入
- ・ダイヤ改正情報の事前共有

## 【徳島県】「徳島県生活交通協議会ワーキング部会」

### ◆公共交通の最適化

※) 交通事業者の連携によるモーダルミックス推進の観点で検討することは、鉄道の利便性向上・利用促進にもつながるため、「次世代地域公共交通ビジョン」の検討組織を活用

### ①モーダルミックスの推進

- ・並行重複路線の解消（鉄道とバスが並行している路線の再編）
- ・パターンダイヤの導入（鉄道、バス）
- ・駅を中心とした乗り継ぎネットワークの構築 など

### ②新たな運行形態の導入

### ◆利便性向上

### ③つなぐ仕組みの構築

- ・公共交通オープンデータ化

### ④交通結節点の環境整備

- ・多様な交通手段を乗り継ぐためのパーク&ライドに向けた環境整備 など

### ◆利用促進

### ⑤新たな需要の創出

- ・フリー乗車券の発行、インバウンド向け企画商品の造成 など

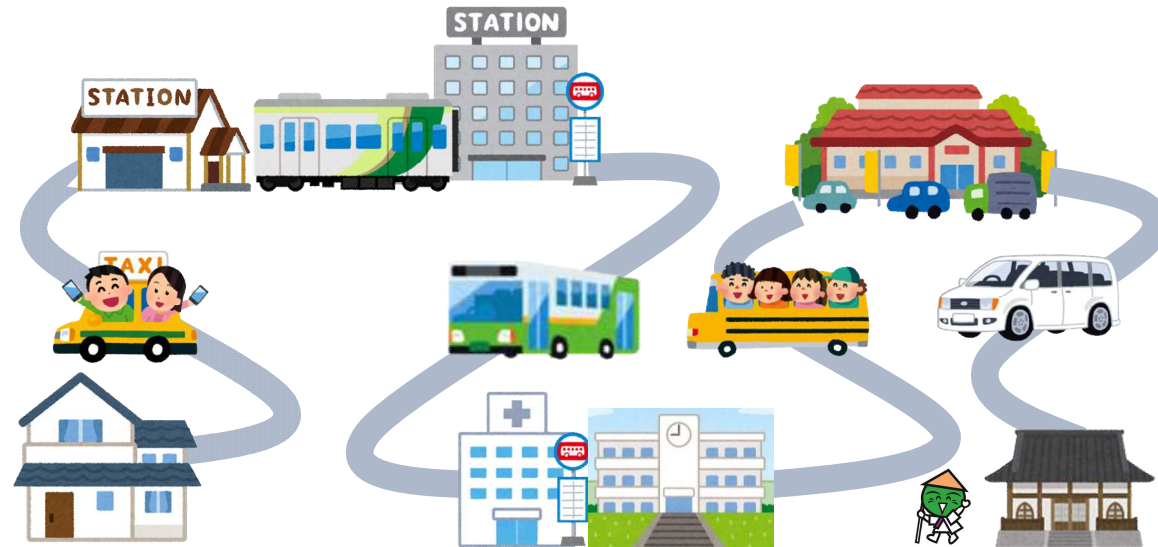
### ⑥地域で支える意識の醸成

### ◆その他

- ・計画の策定（次世代地域公共交通ビジョン、地域公共交通網形成計画）

# 徳島県における「鉄道の利用促進・利便性向上」 アクションプラン

～「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」～  
～中間整理に基づく地域の取組み～



2020年6月

徳島県生活交通協議会

## はじめに

鉄道を取り巻く環境は、モータリゼーションの進展や人口減少などを背景に、利用者が減少するなど、非常に厳しい状況が続いており、地域の鉄道を支えるためには、国、県、市町村、事業者及び県民が一体となって路線維持に向けた取組みを進めることが重要となります。

本県では、平成29年5月に「徳島県生活交通協議会・ワーキング部会」を設置し、鉄道とバス等の連携による「モーダルミックスの推進」や「乗り継ぎの利便性向上」などの観点から、地域の公共交通の維持確保に向けた検討を重ね、できることから実践してきました。この結果、令和元年12月には、新たな「地域公共交通の羅針盤」となる「次世代地域公共交通ビジョン」を策定し、公共交通ネットワークの維持・充実にに向けた取組みを進めているところです。

こうした中、平成29年8月には、「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」が設置され、今後の鉄道の路線維持に向け、鉄道をはじめとする「四国の公共交通ネットワークのあり方」について議論がなされており、鉄道の利用促進や利便性向上に向けた県別（地域）の取組みが求められています。

この「徳島県における鉄道の利用促進・利便性向上アクションプラン」は、本県の地域公共交通の羅針盤である「次世代地域公共交通ビジョン」の施策体系に沿い、特に鉄道の「利用促進策・利便性向上策」について、今後、各関係者がどのように取組むかを明らかにしたものです。





# 「鉄道の利用促進・利便性向上」に向けた取組み事例

## 1 パターンダイヤの導入

JR四国初

最適化

### ◆ 牟岐線へのパターンダイヤ導入 (H31.3～)

特急列車は減便(上下各4本→1本)  
その一方、徳島～阿南間で普通列車を  
8本増発し、利便性を向上

11 00	4	30	4
12 00	4	30	4
13 00	4	30	4
14 00	4	30	4
15 00	4	30	4
16 00	4	30	4
17 00	4	30	4
18 00	4	30	4

▽「徳島～阿南駅」間  
平均通過人員(4月～9月)  
対前年比(H31(R1)/H30)  
全体 2.9ポイント増加

## 2 駅を核とした乗継ネットワークの構築

### ◆ 南小松島駅における路線バスとの乗継連携

徳島駅～県南部方面の路線バス(全系統)の  
「南小松島駅」への乗入れ(H30.4～)による利便性向上

▽「南小松島駅」乗車人員  
対前年比(H30/H29)  
6.3ポイント増加



### ◆ 阿南駅以南における高速バスとの乗継連携

高速バスで補完することで、列車本数が少ない  
阿南駅以南における利便性が向上

全国初

## 3 DMV導入に向けた取組み

世界初

### ◆ 阿佐東線におけるDMVの本格営業運行

車両自体が観光資源となるDMVの導入により、  
阿佐東線はもとより  
牟岐線の利用を促進



## 4 配車システムの実装

利便性

### ◆ デマンド型乗合交通実証運行の実施

- ・最適な運行計画を自動作成するシステムを導入(H31.4～)
- ・タクシーを活用し、市域を超えて、  
駅や医療施設に接続

▽駅のない市におけるデマンド型乗合交通の利用状況(R1)  
市域外最寄り駅への利用者数 13.5%

## 5 交通結節点の環境整備

### ◆ 駅前ロータリー等の整備

- ・駅前ロータリーにバス停  
併設の休憩施設(足湯)を整備
- ・駐輪場も新設し、駅舎には  
観光案内所を併設



### ◆ 駅周辺の美化活動

- ・地域住民による駅周辺の  
清掃活動
- ・沿線自治体による  
駅周辺の放置自転車の撤去



## 6 地域で支える意識の醸成

利用促進

### ◆ 観光振興と連携した取組み

- ・観光列車「四国まんなか  
千年ものがたり」運行時に  
おける地域住民の  
“おもてなし”
- ・マイレール意識醸成の  
ためのモデル的な取組み  
に対する県の支援



■次世代地域公共交通ビジョンの施策体系に基づく「鉄道の利用促進・利便性向上」に向けた取組み

◎ … 特に主となる実施者  
○ … ◎以外の実施者

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
公共交通の最適化								
①モーダルミックスの推進								
◆並行、重複路線の解消								
	鉄道とバスが並行している路線の再編		○	○	○	◎	○	
◆パターンダイヤの導入								
	JRの路線へのパターンダイヤの導入		○	○	◎		○	
	他路線へのパターンダイヤ導入		○	○	◎			○
	路線バスへのパターンダイヤ導入			○		◎	○	
	待ち時間の少ない乗り継ぎダイヤ設定・調整			○	◎		○	
◆駅を中心とした乗り継ぎネットワークの構築								
	駅等へのバスの乗り入れ		○	○	○	◎	○	
	他路線における駅への路線バスの乗入		○	○	○	◎		○
	鉄道と高速バスの連携		○		○	◎	○	
	列車ダイヤと接続する高速バスダイヤの調整		○		○	◎	○	
	列車ダイヤに合わせたバスダイヤの設定・見直し			○	○	◎	○	

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
	列車ダイヤに合わせた町コミュニティバスダイヤの見直し		◎	○		○		
	列車ダイヤに合わせたシャトルバスダイヤの見直し		○	○	◎	○		
	特急列車ダイヤに合わせた登山バスダイヤの設定		◎	○		○		
	列車ダイヤに合わせた出羽島連絡船運航時間の見直し		◎	○				○
	列車ダイヤ改正時における自治体・交通事業者への事前周知			◎		○		
	JRの拠点駅を中心とした効率的なネットワークの構築	◎	○	○	○	○		
◆新たな路線の開設								
	利用者ニーズに応じた新たな路線の開設	○	○	○	◎		○	
② 新たな運行形態の導入								
◆コミバス、タクシーとの連携								
	コミバスやタクシーの活用		◎	○			○	
	駅のない市町村におけるデマンド型乗合交通による最寄り駅へのアクセス確保(実証事業)		◎	○			○	
	駅へのコミュニティバスの乗入		◎	○			○	
	JRを核とした交通ネットワークの構築(コミバスの活用)		◎	○			○	
◆福祉バスの活用								
	福祉バス等の一体的な活用		◎	○		○		
	駅への病院連絡バスの乗入		◎	○		○		

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
利便性向上								
③ つなぐ仕組みの構築								
◆公共交通オープンデータ化								
バスの時刻表や路線情報のオープンデータ化		○	◎		◎		○	
④ 交通結節点の環境整備								
◆利用者の“多様性”に配慮した環境整備								
既存施設を活用した待合環境の整備	待合所の整備	○	◎	◎	○		○	
	待合室と広報施設の併設		◎	○		○		
	地元児童・生徒の作品展示		◎	○		○		
	駅スペースを活用した待合環境の整備		◎	○				○
駅や時刻表の多言語表記化	多言語による情報提供	○		◎			○	
	多言語案内板の設置	○	○	○	○		○	
	車掌用タブレット端末の導入(案内用)			◎				○
バリアフリー化	駅ホームへの内方線付き点状ブロックの整備	○	○	◎		○		
	駅エレベーターの設置	○	○	◎		○		
Wi-Fi環境の整備	駅へのWi-Fi環境の整備	○	○	○			○	
	車両(車内)へのWi-Fi環境の整備	○		◎	◎		○	



項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
駅前整備	駅前ロータリー・広場の整備	○	◎	○			○	
駅周辺の整備	駅周辺道路への電灯・防犯灯の増設		◎					○
駅舎と公共施設との合築	公共施設との合築		◎	○		○		
	「道の駅」との併設		◎	○		○		
トイレの整備	公衆トイレ(多目的・洋式化・水洗化)の整備	○	○	○			○	
	洋式トイレの整備(車両)			◎			○	
	公衆トイレの清掃		◎				○	
美化活動	駅構内・駅周辺の美化活動		◎	○		○		
観光案内所の整備	観光案内所の設置・整備		◎			○		
	駅舎スペースを活用した観光PR		◎	○		○		
	観光案内板の設置	○	◎					○
車両内荷物置き場の設置				◎			○	
レンタサイクルの設置			◎				○	
他交通機関への乗継案内	駅前停留所に乗り入れるバスの時刻表を駅舎に掲示		◎	○	○		○	
◆ 駐車場・駐輪場の整備								
駅への駐車場や駐輪場の整備	駅への駐車場の整備	○	◎	○			○	
	駅への駐輪場の整備	○	◎	○			○	

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
	駐輪場の整理・清掃		◎			○		
	駅における放置自転車の撤去		◎			○		
	パークアンドライドの推進	○		○	○		○	
<b>利用促進</b>								
⑤ 新たな需要の創出								
◆フリー乗車券の発行								
鉄道とバスなど異なる交通機関で利用できるフリー乗車券等の導入	JRと高速バスの共通定期券の導入	○	○	◎	◎			○
	鉄道とバスなど異なる交通機関をシームレスに利用できる共通運賃の導入	○	○	○	○			○
企画切符の販売	四国みぎした55フリーきっぷの販売	○	○	◎	◎	○		
	往復切符(博多、広島、阪神等)の販売			◎		○		
	往復(一周)切符(徳島・室戸・高知きっぷ)の販売			◎		○		
◆インバウンド向け企画商品の造成								
訪日外国人旅行者がキャッシュレスで周遊できる企画乗車券の発行	ALL SHIKOKU Rail Passの販売			◎		○		
	Tokushima Bus passの販売	○	◎		◎	○		
◆貨客混載の取組								
バスを活用した貨物輸送「貨客混載」の推進	バスを活用した貨客混載				◎	○		
列車を活用した貨物輸送「貨客混載」の推進	列車を活用した貨客混載	○		◎				○

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
◆新たな車両の導入								
新型車両の導入	2600系及び2700系の導入			◎			○	
DMV車両の導入	DMVの導入(JRから阿佐海岸鉄道へ阿波海南～海部間の譲受)	○	○	◎		○		
DMVの活用	利便性向上策や利用促進策の取組み	○	○	○			○	
⑥ 地域で支える意識の醸成								
◆利用啓発イベントの開催								
公共交通利用促進イベントの開催	駅前イベントの開催	○	○	○	○		○	
県民や事業者等との連携した取組みの実施	ノーカーデーの実施	○	○				○	
	出張時等における公共交通利用促進	○	○					○
	企業内における公共交通利用促進の周知	○	○					○
	教育機関と連携した公共交通利用促進(校外活動等)	○	◎				○	
	マイレール意識の醸成(四国まんなか千年ものがたり運行時のおもてなし)				○		○	
企画列車の運行	地域のイベントと連携した企画列車の運行	○	○	○			○	
	四季に応じた企画列車の運行	○	○	○		○		
	サイクルトレインの運行	○	○	○			○	
	とくしま回帰トレインセミナーinJR四国の開催	○			○		○	
臨時列車の運行	観光列車の運行(ゆうゆうアンパンマンカー、アンパンマン列車、四国まんなか千年ものがたり)				◎		○	

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
イベント開催時におけるJRとの連携	臨時列車の運行(阿波おどり、四国酒まつり、徳島ヴォルティスホームゲーム、初詣)	○	○	◎		○		
	臨時駅の開設		○	◎		○		
	アニメイベント「マチ★アソビ」とのコラボイベント(記念入場券の販売、駅ジャック、声優一日駅長)	◎		○		○		
	四国DCへの取組み	○	○	◎			○	
	駅～イベント会場間における無料シャトルバスの運行		◎	○		○		
	駅を起点としたツアー造成・催行		◎	○		○		
	イベント開催時における利用促進の推進	○	○	○			○	
観光振興と連携した取組みの実施	イベント開催時における鉄道利用者への特典		◎			○		
	公共交通マップの作成		◎				○	
	観光列車及び企画列車運行時におけるおもてなし活動の実施		◎			○		
列車利用者への特典等	観光パンフレット等への列車時刻表等の掲載		◎			○		
	鉄カードの作成、配布		○	◎		○		
◆補助制度の創設	ファンクラブ制度による特典		○	◎		○		
	通学定期購入者への助成							
高齢者への運賃補助	高齢者への運賃補助		◎			○		
	高齢者タクシー利用料金助成事業における駅への乗り入れ		◎			○		

項目	内容	実施主体				取組の状況		
		県	市町村	交通事業者		実施済	実施拡大 (予定含む)	検討中
				鉄道	バス			
マイレール意識の醸成	市町村が行う鉄道の利用促進等につながる取組みへの支援	◎	○	○			○	
◆公共交通の現状の周知								
県民に対する周知	ホームページや広報誌等広報媒体の活用	○	○	○	○		○	
	鉄道と高速バスのダイヤを併記した時刻表の作成			○	○	○		
	県民へのチラシ配布	○	○	○	○		○	
その他								
◆計画の策定								
次世代地域公共交通ビジョン策定		◎	○	○	○	○		
地域公共交通網形成計画策定		○	◎	○	○		○	
立地適正化計画策定		○	◎				○	
◆調査等の実施								
利用者アンケート	地域公共交通に関するアンケート調査の実施	○	○				○	
利用実態調査	観光庁「交通サービス調査事業」の実施		◎			○		



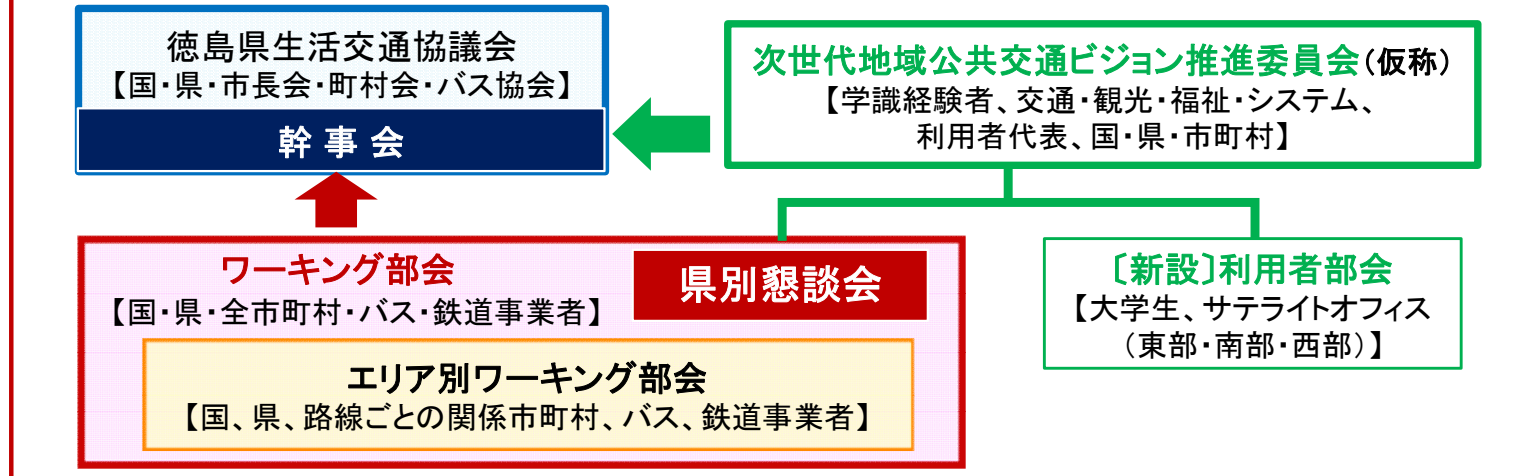


# 「鉄道の利用促進・利便性向上」アクションプランの検討組織と経過

## ○ 検討組織の設置

- H29年5月 JRの懇談会(H29.8)に先んじて、国、全市町村、鉄道、バス事業者からなる「徳島県生活交通協議会 ワーキング部会」立ち上げ
- H30年8月 「徳島県次世代地域公共交通ビジョン策定委員会」を設置
- R元年6月 ワーキング部会に「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」県別懇談会を位置づけ

## ○ 推進体制



## － 県別懇談会における検討の経過 －

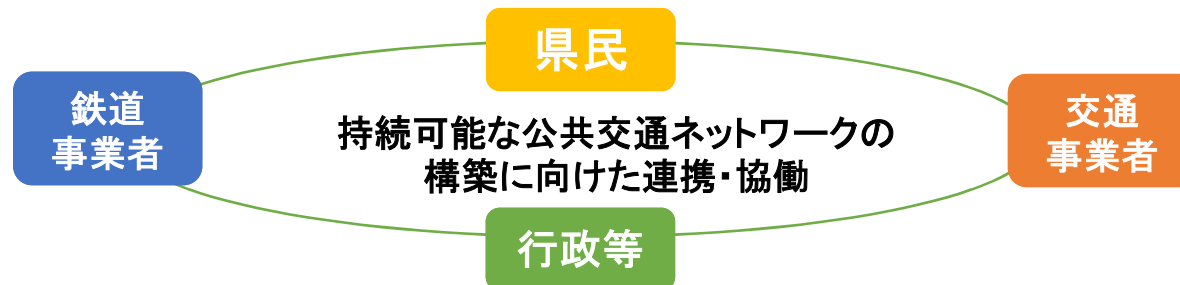
- R元年 6月18日 ワーキング部会〈全体会〉
- 9月 アンケート調査の実施(市町村)
- 9月18日 ワーキング部会〈エリア別〉(鳴門線・高徳線エリア、徳島線・土讃線エリア)
- 9月26日 ワーキング部会〈エリア別〉(牟岐線エリア)
- 11月 鉄道の利用促進策・利便性向上策に関する取組状況の照会
- 12月24日 徳島県生活交通協議会幹事会(利用促進策・利便性向上策照会結果の報告)
- R2年 1月 利用促進策・利便性向上策に関するヒアリング〈全沿線市町〉(JR四国参加)
- 6月4日～12日 ワーキング部会〈エリア別〉
- 6月15日 ワーキング部会〈全体会〉
- 6月 徳島県における「鉄道の利用促進・利便性向上」アクションプラン取りまとめ

# 香川県における鉄道の利用促進方策

令和2年(2020年)9月7日  
香川県鉄道ネットワークあり方懇談会

## はじめに

- 鉄道は、地域住民の生活や経済活動の基盤であり、地方創生や環境問題等への対応といった観点からも重要な社会インフラです。
- 平成29年（2017年）から開催されている「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」においては、高速道路の整備・延伸等により厳しい状況に置かれているJR四国の経営問題や国の役割・関与などについて議論されるとともに、「四国の公共交通ネットワークのあり方」については、地域の関係者による議論を踏まえ、鉄道の利用促進や、鉄道をはじめとする持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて、必要な取組みを進めていくことが求められました。
- この「香川県における鉄道の利用促進方策」は、鉄道事業者、交通事業者、行政等の関係者が取り組む様々な施策を体系的にとりまとめたものです。
- 今後、利便性と結節性に優れた持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて、関係者は連携・協働して利便性向上や利用促進等に積極的に取り組んでいくとともに、主たる利用者である県民の皆様による公共交通の利用が公共交通自体を支えることにつながることから、県民の皆様に対し一層のご理解とご協力を働きかけてまいります。
- また、新型コロナウイルスの影響により、公共交通の利用者が急激に減少していることから、安全・安心に配慮した利用環境の整備に努めてまいります。



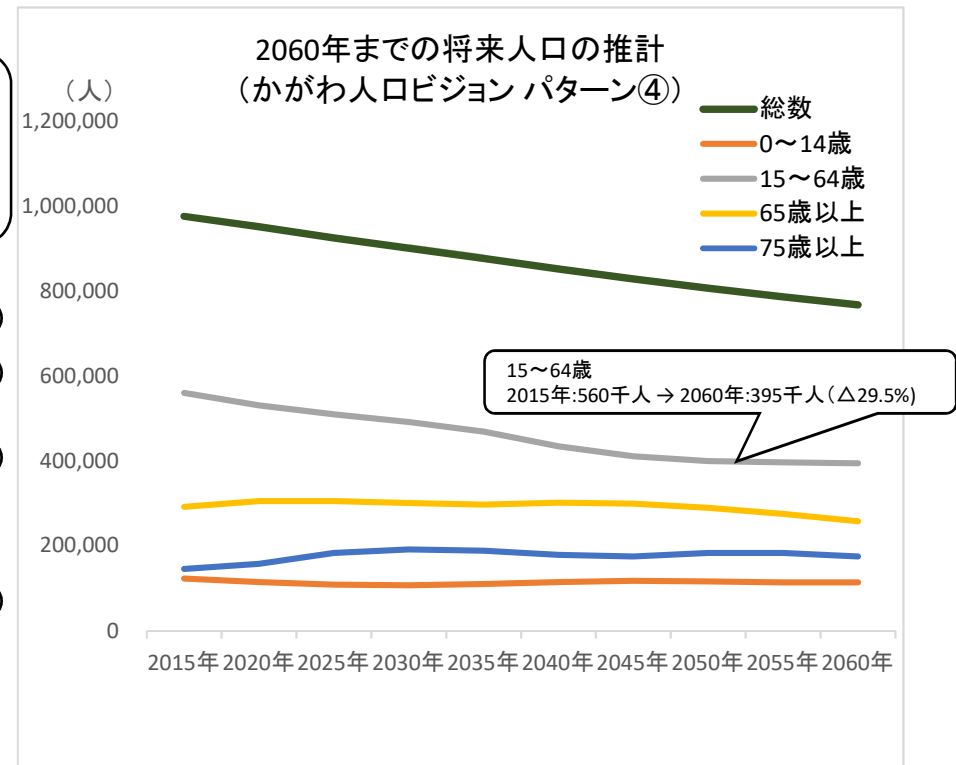
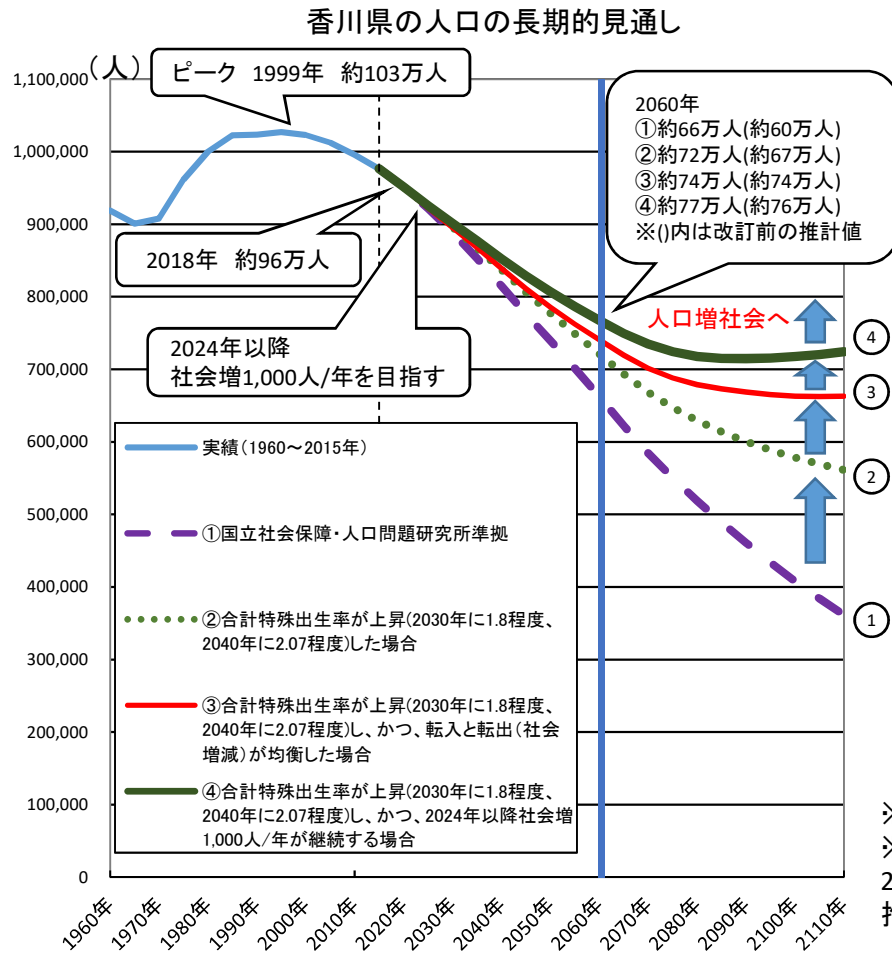
# 目次

- 1 現状と課題
- 2 地域が目指すべき将来像
- 3 具体的取組
  - (1) 持続可能性の確保
  - (2) 利便性向上
  - (3) 利用促進
- 4 今後の進め方

# 1 現状と課題

## (1) 人口減少の進行

- かがわ人口ビジョンによると、香川県の人口は、合計特殊出生率が上昇し、かつ社会増が継続した場合（パターン④）でも、2060年には約77万人まで減少すると推計されている。
- また、香川県の人口は全国を上回るペースで減少し※2、特に通勤・通学定期の主な対象者である生産年齢人口（15歳～64歳）は、2015年に対し2060年には29.5%減少すると予測されている。



※1 2060年までの将来人口の推計は、かがわ人口ビジョンパターン④を採用。  
 ※2 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」によると、2015年の総人口を100とした場合、2045年には全国は83.7、香川は79.5になると推計されている。

出典：香川県「かがわ人口ビジョン」

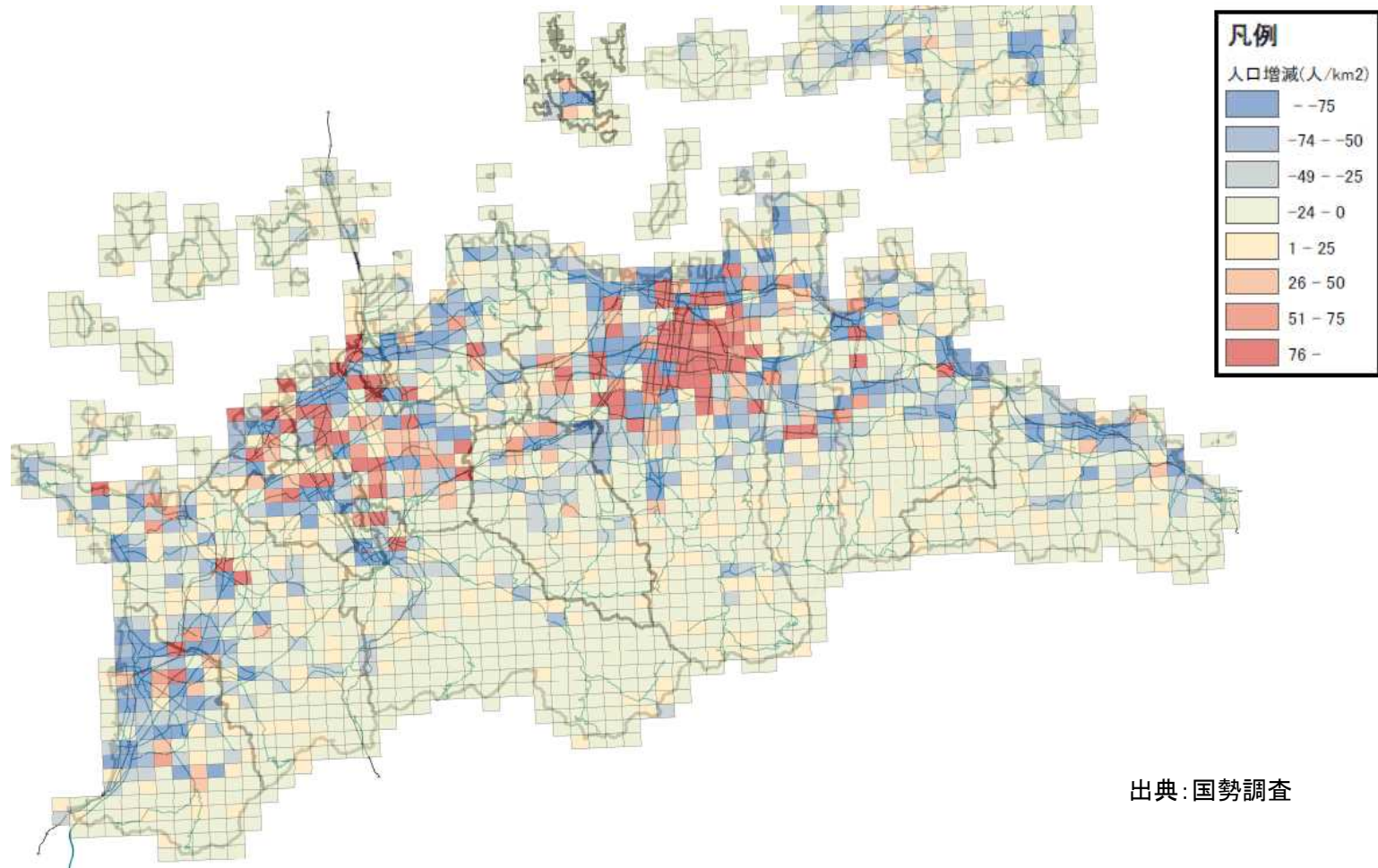


# 1 現状と課題

## (2) 人口の地区別の変化

- 地区別の人口増減(H22~H27)をみると、人口が増加している地域は、中心部ではなく、中心部からやや離れた郊外部に多くみられる。

地区別の人口増減(H22~H27)



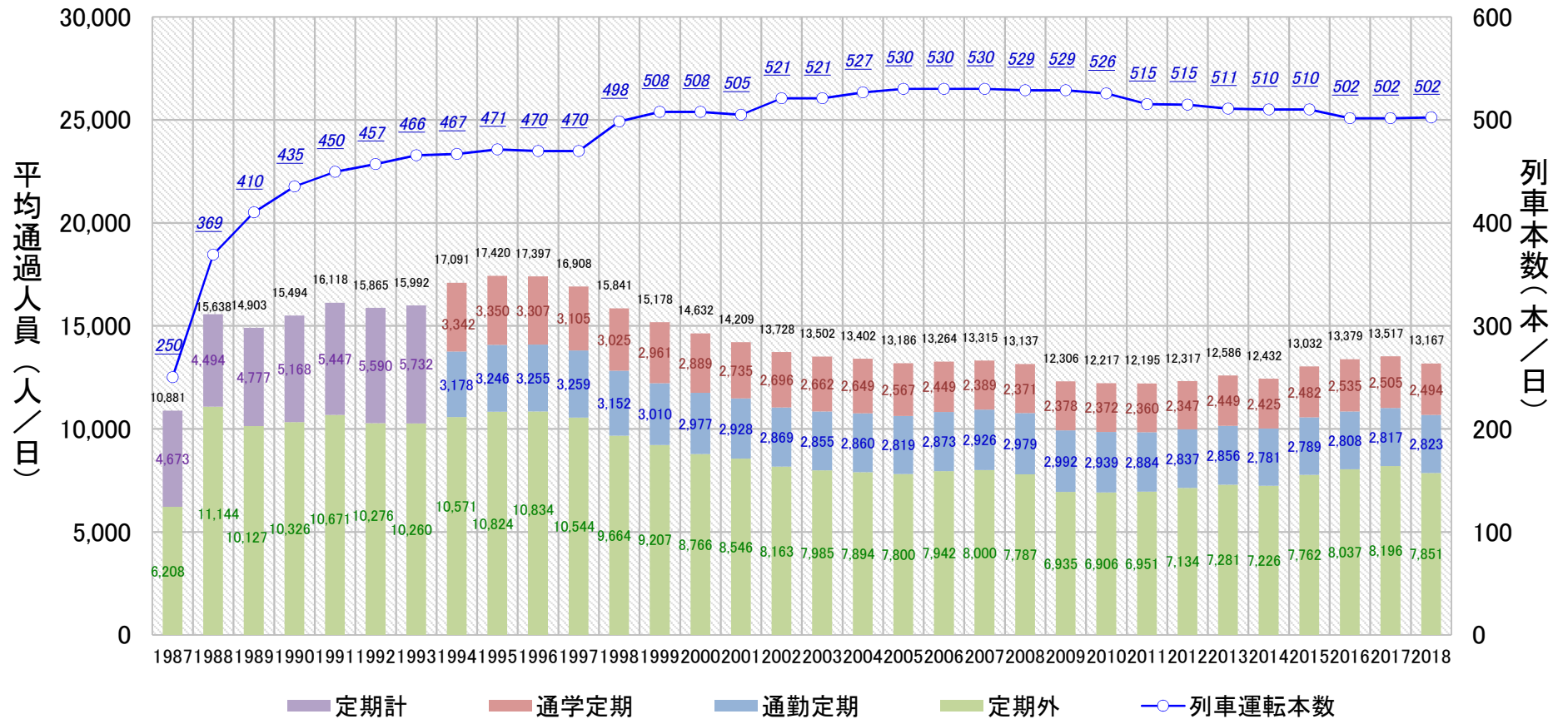
出典: 国勢調査

# 1 現状と課題

## (3) JR四国の利用者数の推移

(香川県内のJR四国線区の平均通過人員及び列車本数の推移)

➤ 香川県内のJR四国利用者数は、列車本数が一定維持されているものの減少傾向にある。  
 (香川県内:1995年度17,420人→2018年度13,167人 △24.4%、JR四国全体1995年度6,341人→2018年度4,520人 △28.7%)



※ 香川県内のJR四国線区:本四備讃線(児島～宇多津)、予讃線(高松～観音寺)、高德線(高松～引田)、土讃線(多度津～琴平)  
 但し、1987～1993年の高德線については高松～徳島間の平均通過人員を元に算出

※ 平均通過人員は、特定区間ごと(例:高松～多度津、多度津～観音寺、観音寺～今治)に算出しているため、豊浜、讃岐相生、塩入、黒川、讃岐財田は上記結果に含まれていない。

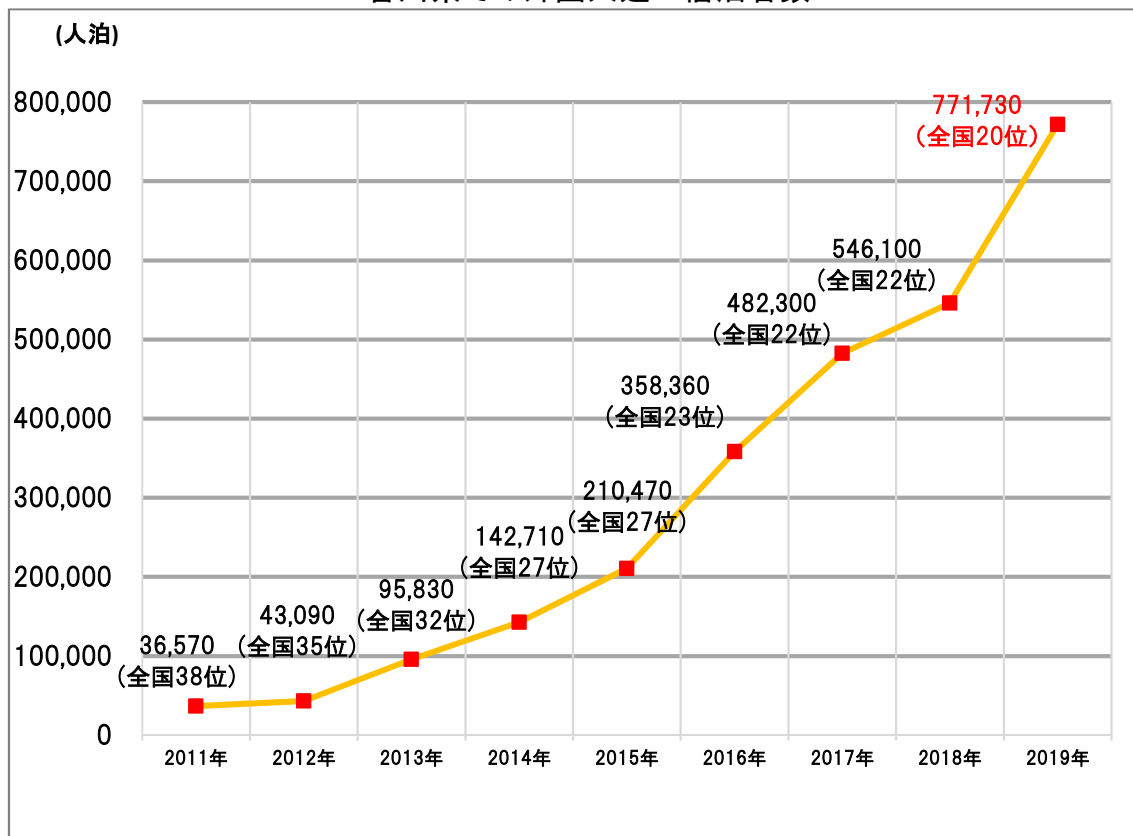
※ 平均通過人員:営業キロ1km当たりの1日平均旅客輸送人員

# 1 現状と課題

## (4) 観光客数の増加(外国人延べ宿泊者数)

- 香川県での外国人延べ宿泊者数は増加傾向にあり、2019年は延べ771,730人(全国20位)となっている。
- 令和2年に入って、新型コロナウイルスの影響により、外国人延べ宿泊者数は激減している。

香川県での外国人延べ宿泊者数

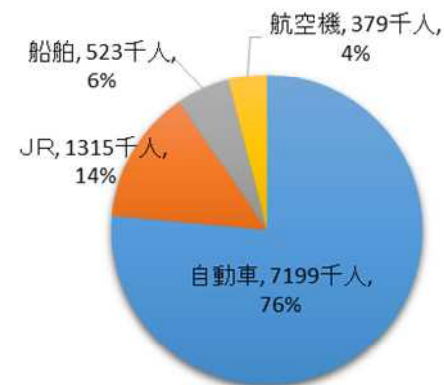


出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、香川県「香川県観光客動態調査報告」

都道府県別外国人延べ宿泊者数  
(上位5都道府県) (2019年)

no	施設所在地	延べ宿泊者数 (万人泊)
1	東京都	<u>2,935</u>
2	大阪府	<u>1,793</u>
3	京都府	<u>1,203</u>
4	北海道	<u>881</u>
5	沖縄県	775

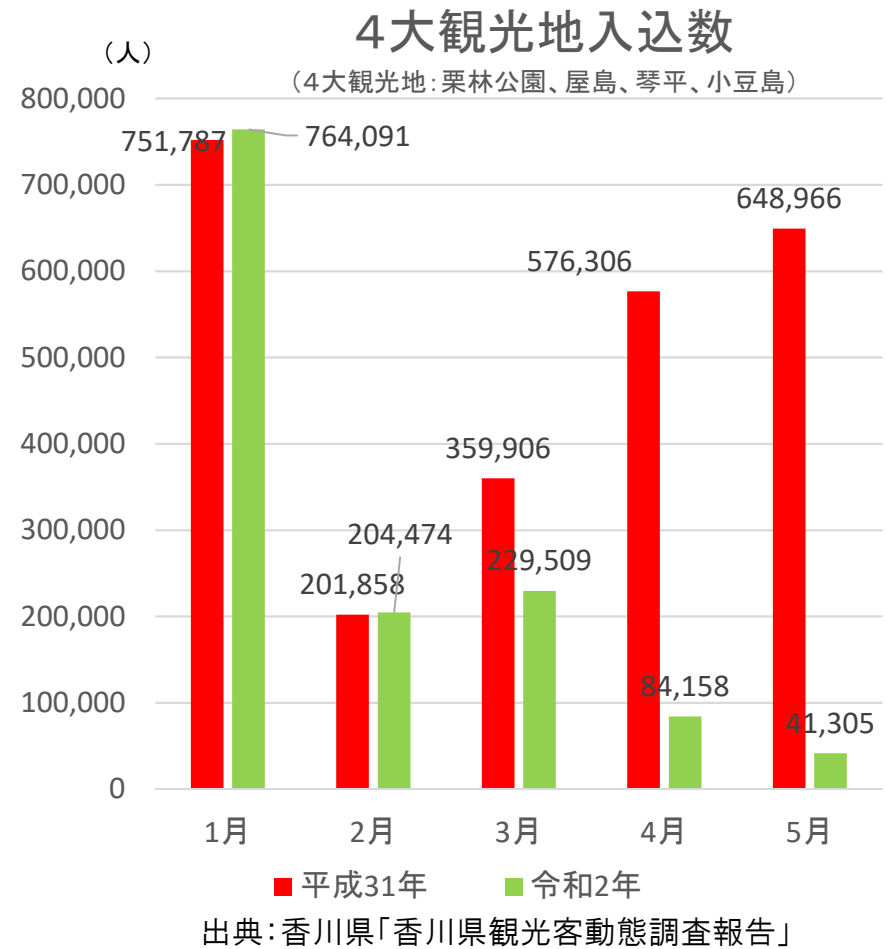
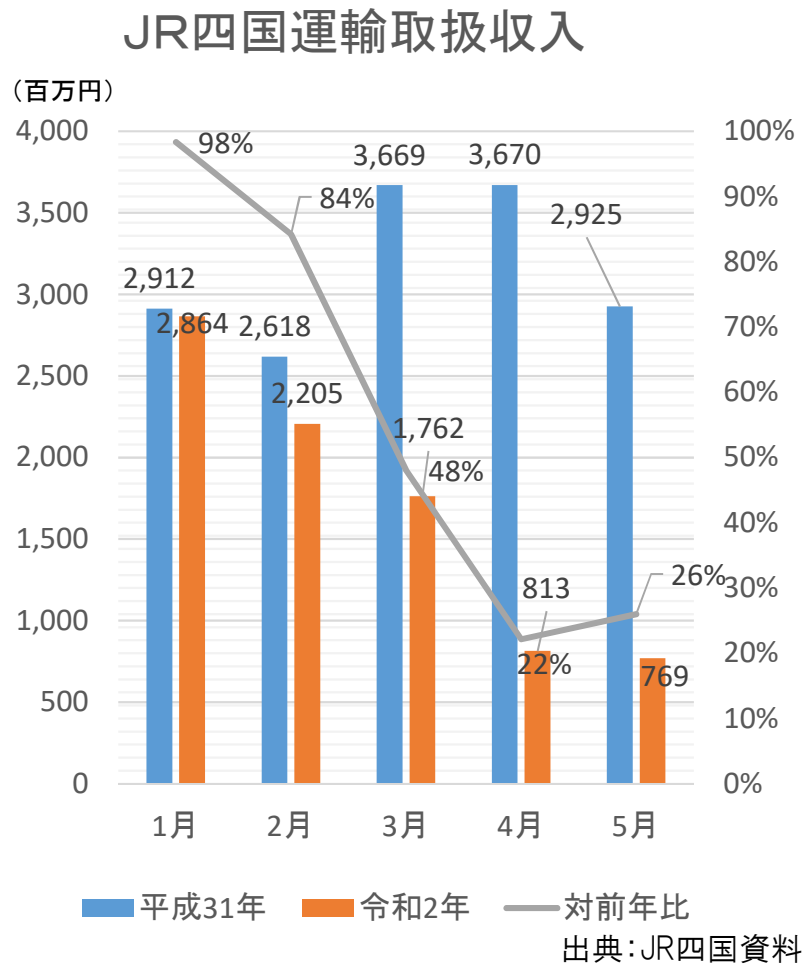
交通機関別県外観光客入込数  
(2018年)



# 1 現状と課題

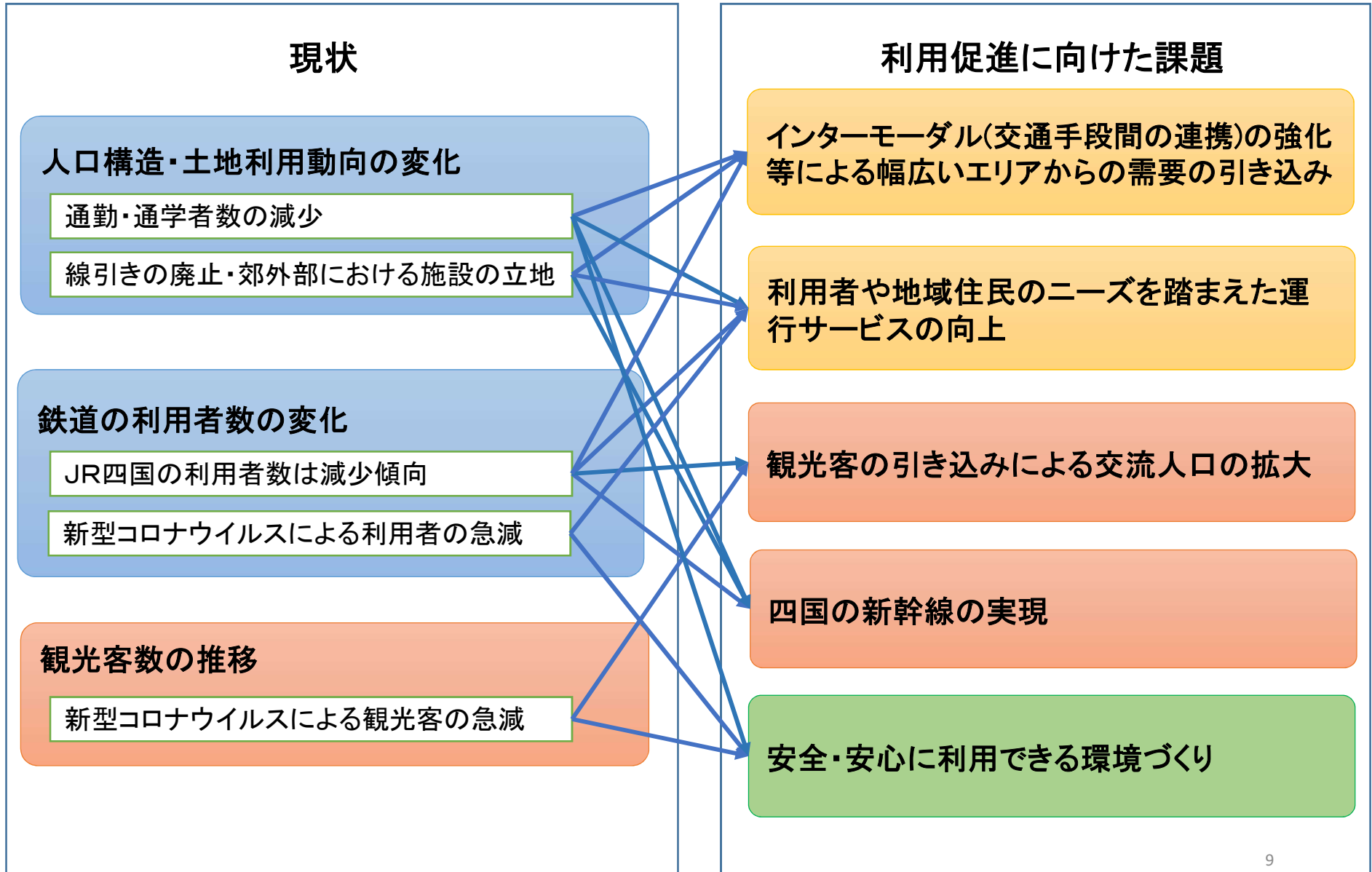
## (5) 新型コロナウイルスの影響(JR四国、観光客数)

- JR四国の運輸取扱収入は、2月以降急落しており、令和2年5月は対前年比26%まで落ち込んでいる。
- 県内の主要観光地の入込数は、3月以降、対前年比で大幅に減少している。



※ 平成31年は瀬戸内国際芸術祭開催年のため平常時より観光客が多い

1 現状と課題  
(6)まとめ

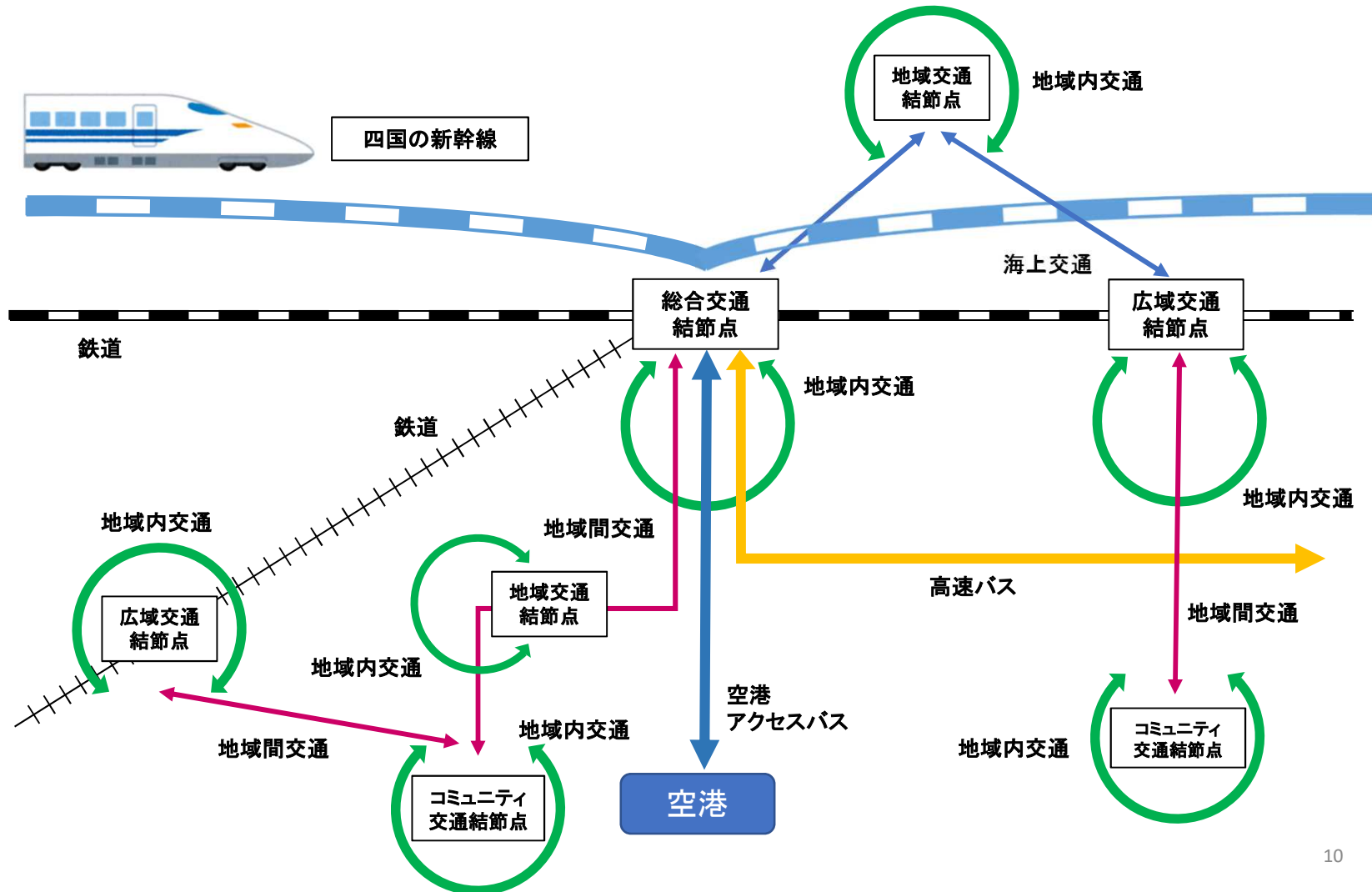




## 2 地域が目指すべき将来像

四国の新幹線を骨格とした公共交通ネットワーク

利便性と結節性に優れた持続可能な公共交通ネットワーク



### 3 具体的取組(一覧)

➤ 関係者は、地域が目指すべき将来像に向けて、課題を克服するため、次の施策に取り組む。

区分	項目	概要
(1) 持続可能性の確保	四国の新幹線の早期実現に向けた取組	四国の新幹線整備に伴う効果等調査の実施等
	駅を中心としたまちづくり	立地適正化計画の策定及び実施、駅周辺の開発整備等
	地域に合ったより良い公共交通の検討	地域公共交通計画の策定及び実施等
	都市経営の視点から見る持続可能な取組	鉄道とバス等による一体的な公共交通ネットワークの形成等
(2) 利便性向上	交通モード間の利便性向上・連携強化	駅と連携した交通モードの運行、GTFSデータの活用等
	交通結節機能の強化	駅前広場の整備、パーク&ライド駐車場の整備等
	輸送サービスの強化	都市圏輸送強化、パターンダイヤ導入の検討等
	利用環境の充実	ICカード利用駅の拡大、新型特急気動車2700系車両の導入等
	駅や路線の活性化	駅を利用した源内改革プロジェクト、ひとの駅三本松の活用等
(3) 利用促進等	地域経済政策・健康福祉政策との連携	高齢者の免許返納者に対する補助(タクシーチケット配布)等
	公共交通利用促進活動	公共交通マップの作成、バス乗り方教室の開催等
	観光・インバウンドによる利用促進	ALL SHIKOKU Rail Passの販売促進、Wi-Fi環境の整備等
	沿線でのイベント等を活用した利用促進	「四国はひとつ」4県連携事業の実施等
	安全・安心の確保	車内消毒やマスク着用等の新型コロナウイルス感染拡大防止策等

### 3 具体的取組

短期・・・おおむね3年以内実施するもの  
 中長期・・・おおむね3年以上先に実施するもの  
 ○・・・実施予定  
 ●・・・実施中(引き続き実施するもの)

区分	項目	No	事業主体	取組概要	短期 (実施中含む)	中長期	備考
持続可能性の確保	四国の新幹線の早期実現に向けた取組	1	香川県ほか	四国の新幹線の早期実現に向けた機運醸成・要望活動	●		
		2	香川県	四国の新幹線整備に伴う効果等調査の実施	○		
	駅を中心としたまちづくり	3	高松市ほか	立地適正化計画に基づく事業の推進	●		高松市、丸亀市、坂出市、多度津町
		4	善通寺市ほか	立地適正化計画の策定		○	善通寺市、観音寺市、さぬき市、三豊市
		5	多度津町	JR多度津駅周辺の開発整備(新庁舎の建設等)	○		
		6	JR四国	高松駅における駅ビル・商業施設等のあり方について検討の深度化	●		
		7	香川県	県立体育館の整備		○	
		8	香川県	ことでん新駅整備に対する支援	●		
		9	高松市ほか	地域公共交通網形成計画に基づく事業の推進	●		高松市、土庄町・小豆島町
	地域に合ったより良い公共交通の検討	10	丸亀市ほか	地域公共交通網形成計画の策定	○		丸亀市、東かがわ市、三木町、綾川町
		11	さぬき市	住民の需要について把握	○		
		12	香川県	鉄道利用促進方策効果検証事業の実施	○		
	都市経営の視点から見る持続可能な取組	13	高松市 JR四国 ことでんバス	鉄道とバス等による一体的な公共交通ネットワークの形成 ・JR端岡駅周辺の整備に向けた検討 ・バス路線の再編	○		
		14	高松市 JR四国 ことでん ことでんバス等	利便性が高く、分かりやすい情報の提供 ・情報提供のシームレス化に向けた検討・協議	○		
		15	高松市 JR四国 ことでんバス	鉄道、バスなど公共交通相互の乗り継ぎの円滑化 ・ICカード等を活用した運賃のシームレス化に向けた検討・協議	○		

### 3 具体的取組

区分	項目	No	事業主体	取組概要	短期 (実施中含む)	中長期	備考
利 便 性 向 上	交通モード間の利 便性向上・連携強 化	16	丸亀市	鉄道駅と連携したコミュニティバスの運行	●		
		17	坂出市	鉄道駅と連携した市内循環バス、デマンドバスの運行	●		
		18	善通寺市	鉄道駅と連携した市民バス(空海号)の運行	●		
		19	観音寺市	JR観音寺駅付近の観光案内所にレンタサイクルを設置	●		
		20	観音寺市	JR観音寺駅・豊浜駅と連携したのりあいバスの運行	●		
		21	さぬき市	JRを含めた乗り継ぎのモデルコースを検討	○		
		22	さぬき市	鉄道駅と連携したコミュニティバス再編、デマンドタクシー導入を検討	○		
		23	東かがわ市	鉄道駅と連携したコミュニティバス、デマンドタクシーの導入検討	○		
		24	三豊市	JR詫間駅等でのレンタサイクル事業の実施	●		
		25	三豊市	鉄道駅と連携したコミュニティバスの運行	●		
		26	宇多津町	JR宇多津駅と連携したコミュニティバスの運行を検討	○		
		27	宇多津町	JR宇多津駅前の電動レンタサイクルの導入	●		
		28	綾川町	鉄道駅と連携した町営バス・デマンドタクシーの運行	●		
		29	琴平町	鉄道駅と連携したグリーンスローモビリティの導入について検討	●		
		30	多度津町	鉄道駅と連携したデマンドタクシーの導入について検討	○		
		31	まんのう町	鉄道駅と連携したデマンドタクシーの運行	●		
		32	JR四国	鉄道と、バス等の二次交通とのダイヤ面での連携	○		
		33	ことでん	GTFSデータの活用	●		
		34	ことでんバス	GTFSデータの活用	●		
		35	ことでんバス	鉄道とのダイヤ面での連携	○		
		36	琴参バス	鉄道とのダイヤ面での連携	○		
		37	琴参バス	駅構内におけるバス案内板の設置等について協議	○		
		38	琴参バス	空港リムジンバスの駅ロータリーへの乗り入れ協議	○		
		39	琴参バス	GTFSデータの整備について検討		○	
40	大川自動車	GTFSデータの整備について検討	○				
41	香川県	鉄道駅と連携した幹線・準幹線系統バスに対する支援	●				

### 3 具体的取組

区分	項目	No	事業主体	取組概要	短期 (実施中含む)	中長期	備考
利便性向上	交通結節機能の強化	42	坂出市	JR坂出駅前広場の整備(バス乗り場等の設置)	○		
		43	さぬき市	JR造田駅前のロータリー、駐輪場整備	○		
		44	さぬき市	パーク・アンド・ライド駐車場の運営	●		
		45	綾川町	綾川駅前のロータリー、駐輪場整備	●		
		46	綾川町	パーク・アンド・ライド駐車場の拡充	○		
	輸送サービスの強化	47	JR四国	都市圏輸送強化 ・岡山駅接続改善(東海道・山陽新幹線) ・運転区間延長(高松～坂出駅間を多度津駅まで延長)	●		
		48	JR四国	予讃線(高松～多度津間)における発車時刻の統一(10時～15時)	●		
		49	JR四国	都市圏へのパターンダイヤ導入の検討		○	
	利用環境の充実	50	香川県	ことでん複線化に対する支援	●		
		51	さぬき市	JR造田駅のトイレ設置	●		
		52	JR四国	ICカード利用駅の拡大(7駅)詫間駅、観音寺駅、善通寺駅、琴平駅、栗林公園北口駅、栗林駅、屋島駅	●		
		53	JR四国	新型特急気動車2700系車両の導入	●		
		54	JR四国	外国人観光旅客利便増進 ・外国語等による情報の提供 ・無料Wi-Fiの設置(駅、車両) ・洋式トイレの整備(駅、車両) ・車両への荷物置き場設置 ・車掌用タブレット端末の導入(案内用) など	●		
	駅や路線の活性化	55	善通寺市	JR善通寺駅における「ITCAMP善通寺」の開催	●		
56		さぬき市	駅を利用した源内の改革プロジェクト	●			
57		東かがわ市	駅の隣接地に市の拠点施設「ひとの駅三本松」を活用した取組の検討	○			



### 3 具体的取組

区分	項目	No	事業主体	取組概要	短期 (実施中含む)	中期	備考
利用促進等	地域経済政策・健康福祉政策との連携	58	丸亀市	免許自主返納者に対するICOCA、IruCa、タクシーチケットの交付	●		
		59	坂出市	高齢者の免許返納者に関する補助	●		
		60	観音寺市	高齢者の免許返納者に対するのりあいバスの回数乗車券の交付	●		
		61	さぬき市	高齢者の免許返納者に関する補助	●		
		62	さぬき市	高齢者や障がい者に対するタクシーチケットの交付	●		
		63	東かがわ市	高齢者へのタクシーチケット配布、無償乗合への支援について検討	○		
		64	東かがわ市	高齢者の免許返納者に関する補助	○		
		65	三豊市	高齢者の免許返納者に関する補助	●		
		66	土庄町	高齢者の免許返納者に対するIruCaカード、地元バス回数券等の交付	●		
		67	小豆島町	高齢者の免許返納者に関する補助、高齢者や障がい者を対象としたタクシーチケットの補助	●		
		68	三木町	高齢者の免許返納者に関する補助	●		
		69	綾川町	高齢者の免許返納者に関する補助	●		
		70	多度津町	高齢者の免許返納者に関する補助、高齢者に対する福祉タクシーチケットの交付	●		
		71	まんのう町	高齢者の免許返納者に関する補助	●		
		72	香川県タクシー協同組合	身体障害者・知的障害者・精神障害者・戦傷病者・被爆者・運転免許返納者の運賃料金割引継続	●		
公共交通利用促進活動		73	坂出市	公共交通マップの作成、ノベルティグッズの作成、バス乗り方教室などの子供向けの利用促進	○		
		74	観音寺市	のりあいバスの乗り方講座の実施と講座の中でのJRと連携した乗り方の説明	●		
		75	三豊市	モビリティマネジメントの実施について検討	○		
		76	土庄町 小豆島町	中学生や老人会に対してバスの乗り方教室を実施	●		
		77	まんのう町	デマンドタクシー乗り方講習会の開催	●		

### 3 具体的取組

区分	項目	No	事業主体	取組概要	短期 (実施中含む)	中長期	備考
利用促進等	公共交通利用促進活動	78	大川自動車	バス未利用者へのPR活動	○		
		79	JR四国、ことடன்、ことடன்バス、琴参バス、大川自動車、香川県	公共交通利用促進キャンペーンの実施	●		
		80	香川県	親子鉄道教室の実施検討	○		
		81	香川県	県HP乗り物ナビ拡充の検討	○		
	観光・インバウンドによる利用促進	82	善通寺市	JR善通寺駅で「四国まんなか千年ものがたり」への手振りとゆるキャラ(むぎゅ〜ちゃん)でのお見送りを実施	●		
		83	観音寺市	アニメを活用した市内スタンプラリー等の開催	●		
		84	さぬき市	地域イベントにおける鉄道利用の促進	○		
		85	東かがわ市	観光視点での移動手段・ルートを考慮した東かがわ市観光基本計画策定	○		
		86	三豊市	鉄道駅での観光交流局における情報発信機能の充実	○		
		87	小豆島町	町営バス三都線で「ALL SHIKOKU Rail Pass」が利用可	●		
		88	綾川町	鉄道駅と連携した駅前賑わい事業の実施	○		
		89	琴平町	JR琴平駅で「四国まんなか千年ものがたり」への手振りとゆるキャラ(こんぴーくん)でのお見送りを実施	●		
		90	琴平町	JR琴平駅で正月うどんのふるまい	●		
		91	琴平町	鉄道駅と連携したナイトコンテンツの充実	●		
		92	多度津町	JR多度津駅で「四国まんなか千年ものがたり」への手振りとゆるキャラ(さくらちゃん)でのお見送りを実施	●		
		93	JR四国	四国水族館との連携 ・特急「南風」の全列車宇多津駅停車 ・企画商品の造成 など	●		
		94	JR四国、香川県観光協会、香川県、関係市町	2021年秋開催四国DCへの取り組み	○		
		95	JR四国、ことடன்、香川県観光協会	「ALL SHIKOKU Rail Pass」の販売促進	●		

### 3 具体的取組

区分	項目	No	事業主体	取組概要	短期 (実施中含む)	中長期	備考
利用促進等	観光・インバウンドによる利用促進	96	香川県観光協会	Wi-Fi環境・洋式トイレの整備の支援	●		
		97	香川県観光協会	外国人観光案内所の設置(JR高松駅)	●		
		98	香川県観光協会	受入機運の醸成・関係者の意識啓発	●		
		99	香川県観光協会	多言語による表記や情報提供の充実	●		
		100	香川県	ユニバーサルデザインタクシー普及促進モデル事業の実施	○		
	沿線でのイベント等を活用した利用促進	101	善通寺市	丸亀競技場の大会等をいかしたJR金蔵寺駅の利用促進の検討	●		
		102	東かがわ市	「引田ひなまつり」開催に対する支援	●		
		103	JR四国 四国4県	「四国はひとつ」4県連携事業の実施	○		
	安全・安心の確保	104	香川県 関係市町	新型コロナウイルスの影響により被害を受けた公共交通事業者に対する支援の検討	○		
		105	交通事業者	車内消毒やマスク着用などの新型コロナウイルス感染拡大防止策	●		

## 4 今後の進め方

### (1) 関係機関の連携・協働

鉄道事業者、交通事業者(バス事業者、タクシー事業者)、行政(国、県、市町、観光協会)等の関係機関は、連携・協働して「香川県における鉄道の利用促進方策」に掲げる施策を推進する。

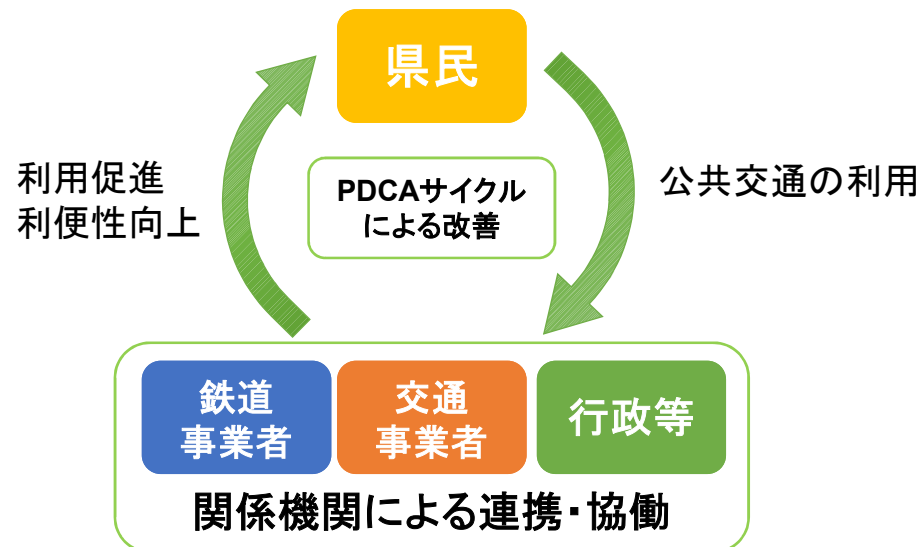
### (2) PDCAサイクルを通じた進行管理

当懇談会を定期的開催し、方策に盛り込まれた様々な取組の実施状況等について確認を行い、必要に応じて改善を行う。

### (3) ワーキンググループ等の開催

ワーキンググループ等を随時開催し、より実効性ある施策の立案ならびに実現に向けて、協議・検討を行う。

## 持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて



# 愛媛県で取り組む利用促進策（概要）

## 生活利用の促進

公共交通に係る住民への情報提供の充実や、利用に際しての利便性の向上により、通勤・通学など日常生活における利用の促進を図る。

- ◎ノーマイカー通勤デーの推進
- ◎公共交通機関のダイヤ等の広報活動
  - ・ホームページ等の充実によるダイヤや運行内容、乗りかえ情報等の提供
  - ・利用者の状況にきめ細かく対応した割引制度の拡充
  - ・まちづくりと連携した利用促進 など

## 観光利用の促進

観光や地域イベント等との連携や鉄道を活用したイベントの企画等により、県内外からの新たな利用の掘り起こしを図る。

- ◎観光イベント等と連携した企画きっぷの造成
- ◎企画列車の運行
  - ・サイクリングとの連携
  - ・事業者連携による企画きっぷ等の検討
  - ・愛媛県予土線利用促進対策協議会事業
  - ・着地型旅行商品企画・造成事業 など

## 交通機関の相互連携促進

交通機関相互の適切・効果的な組み合わせとなるダイヤ編成に努めるなど、交通機関の相互連携の促進による交通モード間のシームレス化を推進し、利便性の向上を図る。

- ◎鉄道やバス等が連携しやすいダイヤ等の調整
  - ・MaaSの造成の検討
  - ・鉄道、バス等が連携した企画きっぷ等の造成
  - ・他交通モードとのダイヤ調整 など

## その他

地域の住民や域外からのビジネス・観光客が利用しやすくなるよう、駅及び周辺の整備を図る。

- ◎駅、電停等のバリアフリー化の推進
  - ・駅周辺施設（駐車場・駐輪場等）の整備
  - ・駅の案内表示の充実 など

◎は、都市部での利用を伸ばす効果が高いと考えられるもの

今後取り組む具体的な利用促進策(愛媛県)

【生活利用の促進】

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
令和2年度	1	ノーマイカー通勤デー	公共交通の利用促進を図るため、平成18年8月に「愛媛県公共交通利用推進宣言」を行い、利用促進施策として、ノーマイカー通勤デーを毎月1回設定	予讃線 予土線	自治体 JR四国 交通事業者	利用促進
	2	伊予市コミュニティバス運行・利用実態把握業務	令和2年4月に運行を開始した伊予市コミュニティバスの運行・利用実態を把握し、より効果的・効率的な運行に向けた資料をとりまとめるとともに、顕在・潜在的なリスクを把握する。	予讃線	伊予市	利用促進
	3	公共交通マップの作成	市内の全交通機関を網羅するとともに、目的地となる施設の位置も示した交通マップを作製し、各戸配布を行う。	予讃線 予土線	宇和島市	利用促進
	4	ポケット時刻表作成	引き続き小型時刻表四国版の裏面に松野町の観光PR写真を掲載を検討する。	予土線	松野町	利用促進
	5	公共交通機関のダイヤ等の広報活動	公共交通機関のダイヤなど情報発信を広く行うことにより利用促進を図る。 ○具体項目:バス事業者と連携した鉄道・バスの共通時刻表の作成、自治体広報誌・HPへの時刻表の掲載	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者 自治体	利用促進
5年以内	1	大口割引の導入	特急利用の拡大を図るため、一定規模以上の事業所を対象に大口割引の導入を検討する。	予讃線 予土線	JR四国	利用促進
	2	免許返納や通院等、高齢者への対応	免許返納後の交通手段としての鉄道利用や、東予・南予から松山市近郊の医療機関への通院等、高齢者のニーズへの対応	予讃線 予土線	JR四国 自治体	利用促進
	3	通勤利用を促す事業所、住民へのPR	自家用車利用からの転換を促すため、鉄道・バスの連携も含めた事業所、住民向けPRを実施。	予讃線 予土線	自治体 JR四国 交通事業者	利用促進
	4	家族割引の導入	自家用車利用に対抗し、ファミリー利用を増やすため、家族を1グループとする割引切符の導入を検討する。	予讃線 予土線	JR四国	利用促進
	5	通勤・通学利用の促進	通勤・通学時間対応したダイヤの改善等	予讃線	西条市 交通事業者	利便性の向上

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
5年以内	6	地域内交通における支線の見直し	地域内交通における支線を見直すとともに、交通空白地における新たな公共交通を導入し、交通結節点まで運行。	予讃線	大洲市 又は 自治会等	利便性の向上
	7	公共交通マップ等の作成	市内すべての交通モードが一元的に整理された分かりやすい地域公共交通マップ等を作成し、地域住民や観光客にご利用いただくことで、公共交通の利用促進を図る。	予讃線	八幡浜市	利用促進
	8	JR卯之町駅 駅前おでかけ案内事業	・卯之町「はちのじ」まちづくり整備事業で実施する駅前複合施設、駅舎、駅前広場、ロータリーの整備と合わせた公共交通利用者の利便性の向上や利用促進に向けた事業の展開	予讃線	西予市 駅前開発事業者	利便性の向上
	9	公共交通ホームページ 充実事業	・公共交通の利用方法(主要施設・地点への経路、料金、滞在可能時間)等の掲載	予讃線	西予市	利用促進
	10	都市圏輸送強化	将来の乗務員不足を踏まえ、限られた経営資源(車両、乗務員)を都市圏へ集中することにより、都市圏の輸送強化を行う。また、利用者にとって分かりやすい時刻とすること、及びバス等の二次交通との連携を図りやすくすることを目的として、パターンダイヤ導入の検討を図る。 ○具体項目:松山駅近郊での輸送強化(パターンダイヤ導入の検討など)	予讃線	JR四国	利便性の向上
5年超	1	松山駅周辺土地区画整理事業	愛媛県の鉄道高架事業と本市の土地区画整理事業を一体的に施行している。土地区画整理事業では、東口駅前広場の拡張や西口駅前広場の新設を行うとともに路面電車を駅前広場に引き込むことにより、広域交通拠点として利便性の向上を図る。	予讃線	松山市 及び関係事業者	利便性の向上
	2	潜在的公共交通利用者への利用促進事業	・小・中学生等への公共交通の啓発活動	予讃線	西予市	利用促進
	3	新駅の設置	まちづくりと連携し、都市圏近郊の人口集積地へ新駅を設置し利便性向上を図る。 ○具体項目: 松山・伊予市方面への通勤・通学の利便性向上 その他、地域の要望による都市圏近郊の人口集積地への新駅設置の検討	予讃線	自治体 JR四国	利便性の向上



今後取り組む具体的な利用促進策(愛媛県)

【観光利用の促進】

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
令和 2年度	1	YODOSENサポーターの周知	YODOSENサポーターをさらに周知し、予土線ファンを拡大させる。	予土線	自治体 JR四国	利用促進
	2	サイクリングターミナル建造事業	JR今治駅前にサイクリングターミナルを建造し、サイクリング客の誘致を図る。	予讃線	今治市	利便性の向上
	3	サイクルトレインの運行	しまなみサイクルトレイン利用促進協議会に負担金を支出し、サイクルトレインしまなみ号を運行。	予讃線	今治市 JR四国	利用促進
		サイクルトレインの運行	サイクリングイベント「ツール・ド・ひじかわ」に合わせてサイクルトレインを運行(モデル事業として実施)	予讃線	大洲市 サイクリング協会 JR四国	利用促進
	4	観光列車「伊予灘ものがたり」運行関連事業	観光列車「伊予灘ものがたり(双海編)」乗客への記念品提供、町内特産品の販売など	予讃線	伊予市 JR四国	利用促進
		観光列車「伊予灘ものがたり」運行関連事業	観光列車「伊予灘ものがたり(大洲編)」乗客への記念品・パンフレットおよび市内店舗クーポン付き散策マップの提供など	予讃線	大洲市 JR四国	利用促進
		観光列車「伊予灘ものがたり」運行関連事業	観光列車「伊予灘ものがたり(八幡浜編)」乗客への記念品の提供、市広報媒体を利用した「手振り運動」の推進等	予讃線	八幡浜市 JR四国	利用促進
	5	しおかぜウォークなのはな大会	地域振興と鉄道への理解を深め、予讃線(海周り)のPRと沿線の活性化を目的に、伊予長浜駅～伊予上灘駅間でウォーキング大会の実施。	予讃線	JR四国	利用促進
	6	旧内子線廃線ウォーク	廃線の歴史的資料としての価値、多目的な資源としての活用(毎年1回11月に開催)	予讃線	内子自治センターほか	利用促進
	7	JR近永駅周辺賑わい創出プロジェクト	産官学の構成員からなるプロジェクトチームで近永駅の町有化を視野に入れた駅舎の改修等、近永駅周辺地域の活性化について検討を行い、実施可能なものから順次事業着手。	予土線	鬼北町 JR四国	利用促進

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
令和 2年度	8	ALL SHIKOKU Rail Passの発売	JR四国及び関係交通事業者(土佐くろしお鉄道,阿佐海岸鉄道,高松琴平電気鉄道,伊予鉄道,とさでん交通,小豆島フェリー,小豆島オーブパス)の連携により、外国人向けフリー切符の発売	予讃線 予土線	JR四国 伊予鉄道 (株) 他	利用促進
	9	四国西南レール&バスきっぷの発売	四国西南エリアにおける鉄道(JR)と沿線バス路線を組み合わせた企画きっぷの発売	予讃線 予土線	JR四国 伊予鉄バス (株) 他	利用促進
	10	広島呉ちかみちきっぷの発売	愛媛県南予地域～松山駅～松山観光港～呉・広島への鉄道・バス・船を組み合わせた企画きっぷの発売	予讃線	JR四国 伊予鉄バス (株) 他	利用促進
	11	「松山お買い物きっぷ withまちペイ」の発売	特急列車利用促進及び松山市街の活性化を目的とした、松山市街での買い物に利用できる「マチピ」と松山駅までの往復の特急列車自由席利用のきっぷを組み合わせた企画きっぷの発売	予讃線	JR四国	利用促進
	12	四万十・宇和海フリーきっぷの発売	四万十川・宇和海周辺のフリー区間内のJR線、宇和島自動車(バス)線、土佐くろしお鉄道線が乗り降り自由のフリータイプと、松山駅からフリー区間を経由して高知駅まで片道乗車する片道タイプの企画きっぷの発売	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者	利用促進
	13	内子・大洲町並散策1日パス	歴史的な町並みで情緒あふれる愛媛県内子町と大洲市、夕日が美しい愛ある伊予灘線沿線の散策に便利なフリーきっぷの発売	予讃線	JR四国	利用促進
	14	外国人観光旅客利便増進	・外国語等による情報の提供 ・無料Wi-Fiの設置(駅、車両) ・洋式トイレの整備(駅、車両) ・車両への荷物置き場設置 ・車掌用タブレット端末の導入(案内用) など	予讃線	JR四国	利便性の向上
	15	沿線でのイベント・行事を活用した利用促進	イベント等の情報共有や鉄道利用の働きかけなど ○具体項目:坊っちゃんスタジアムでのプロ野球や愛媛県武道館でのコンサート等の大規模イベント、愛媛県予土線利用促進対策協議会との連携	予讃線 予土線	自治体 JR四国	利用促進
	16	遠足等への運賃助成事業	沿線市町の幼稚園、保育園、認定こども園、小学校及び中学校において行われる予土線を利用した遠足等行事に対して、鉄道運賃の半額助成。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会	利用促進
	17	企画列車の運行	ビールトロッコ列車、アンパンマントロッコ、予土線3兄弟三重連などの企画列車を運行。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会 JR四国	利用促進
18	よどせん感謝祭の実施	沿線において各種企画イベントを実施。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会	利用促進	
19	予土線サポーター事業	ファン拡大を図るためYODOSENサポーターを募集。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会	利用促進	

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
令和 2年度	20	予土線川柳コンテスト	ファン拡大を図るため川柳コンテストを実施。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会	利用促進
	21	予土線絵画コンテスト	ファン拡大を図るため絵画コンテストを実施。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会	利用促進
	22	各種PR事業の実施	観光利用等の促進のため、各種施策を実施。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会	利用促進
5年 以内	1	観光商品の造成	観光イベントや他の交通モードと連携した商品造成等を行う。	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者	利用促進
	2	サイクリングとの連携	サイクルトレインや混乗試験の拡充やサイクリングイベントとの連携に取り組む。	予讃線 予土線	自治体 JR四国	利用促進
	3	南伊予駅関連事業	新駅が車両基地に併設されることから、車両基地を目玉とした観光誘客等を検討する。	予讃線	伊予市	利用促進
	4	外来者への分かりやすい情報提供	JR伊予西条駅での表示の多言語化	予讃線	自治体 交通事業者	利用促進
	5	鬼デザイン観光列車の運行	内装・外装に鬼デザインを施した観光列車を運行し、鉄道自体の観光資源化を図る。	予讃線 予土線	鬼北町 JR四国	利用促進
	6	四国DC( destinations キャンペーン)との連携	2021年秋に開催予定の観光イベントとの連携	予讃線 予土線	観光団体 JR四国 自治体 交通事業者	利用促進
5年超	1	着地型旅行商品企画・造成事業	JR新居浜駅発着等の着地型旅行商品について、これまでのプランとは違った新しいツアーの開発を行い、モニターツアー等の評価を実施する。	予讃線	新居浜市 JR四国	利用促進

今後取り組む具体的な利用促進策(愛媛県)

【交通機関の相互連携促進】

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
令和2年度	1	松山日帰り路面電車割引きっぷの発売	JR松山駅までの鉄道(JR)と伊予鉄道市内電車を組み合わせた企画きっぷの発売	予讃線	JR四国 伊予鉄道(株)	利便性の向上
	2	JR四国との連携きっぷ(四国フリーきっぷ等)の発売	鉄道(JR)と沿線バス路線(久万高原線)を組み合わせた企画きっぷの発売	予讃線	JR四国 ジェイアール四国バス(株)他	利便性の向上
	3	豊予海峡横断きっぷの発売	松山駅または宇和島駅と八幡浜駅間の鉄道と八幡浜港と別府港の間のフェリーがセットになった企画きっぷの発売	予讃線	JR四国 交通事業者	利便性の向上
5年以内	1	JRとバスの連携(代替性の確保)	災害時等にJRもしくはバスが不通となった場合に備え、事前にJRとバス事業者が協定を結び、定期券所有者の振り替え輸送を実施する。	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者	利便性の向上
	2	JRとバスとの連携(結節機能の強化)	交通機関(JR・路線バス・コミバス等)のダイヤを調整し、極力待ち時間が少なく移動できるようにする。	予讃線 予土線	自治体 JR四国 交通事業者	利便性の向上
	3	JRとバスとの連携(セット定期券の発売)	例えば、予土線沿線(特に松野町)では、列車の本数が少なく、バス(虹の森公園線)と補完関係にあるので、JR予土線とバス(虹の森公園線)がどちらも利用可能な定期券を発売する。	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者	利便性の向上
	4	相互連携切符の造成	JRと他の交通機関(バス等)が連携した企画切符を造成する。 (例)松山空港きっぷ:JR特急自由席乗車券+空港リムジンバス	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者	利便性の向上
	5	他交通モードとのダイヤの調整	乗合タクシー、公共交通空白地有償運送、路線バス、フェリー等とのダイヤを調整することで、乗り継ぎをスムーズに行えるようにする。	予讃線	八幡浜市	利便性の向上
	6	都市機能誘導区域間の移動利便性の向上	交通結節点となるJR駅での予讃線と支線との接続の改善	予讃線	自治体 交通事業者	利便性の向上
	7	市内外ネットワーク構築事業	・JR卯之町駅・八幡浜駅での宇和島バスの結節調整 ・集落から市内外の拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの形成	予讃線	西予市 交通事業者	利便性の向上
	8	MaaSの造成	スマホアプリ等を活用し、時刻・経路の検索、予約、決済までを一括で行うサービスの開発(上記はあくまで例であり、MaaSの概念は定まっておらず、具体的なサービスについては現在さまざまな業界で検討中)	予讃線 予土線	伊予鉄バス(株)他	利便性の向上

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
5年以内	9	バス等フィーダー交通との連携	バス事業者等とのダイヤ連携(ダイヤ改正時刻の事前周知など) バス事業者等との乗継時運賃割引、運賃・乗車券の共通化の検討	予讃線 予土線	JR四国 自治体 交通事業者	利便性の向上
5年超	1	JR線と伊予鉄道路線との結節点の利便性向上	東予・南予のほか県外を結ぶ広域的な交通機関であるJR線と中予地域での基幹的交通機関である伊予鉄道との乗継利便性の向上	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者	利便性の向上
	2	片道定期券の発売	ニーズに柔軟に対応するため、片道みの定期券の発売を検討する	予土線	JR四国 宇和島自動車(株) 他	利便性の向上

今後取り組む具体的な利用促進策(愛媛県)

【その他】

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
令和 2年度	1	JR内子駅周辺環境整備	廿日市自治会によるJR内子駅前の清掃活動及びJR内子駅周辺の花いっぱい運動	予讃線	内子町 廿日市 自治会	利用促進
	2	JR宇和島駅 駅前周辺整備事業	「パフィオうわじま」の整備にあわせ、駅前空間を整備する。	予讃線 予土線	宇和島市	利便性の 向上
5年 以内	1	駅前周辺環境整備	地域の関係者が連携した駅前周辺の環境整備(駐輪場の設置等)を図る。	予讃線 予土線	自治体	利便性の 向上
	2	駅周辺の駐車場整備	地元の関係者が連携した駅周辺の駐車場整備により、パーク&ライドを推進する。	予讃線 予土線	自治体	利便性の 向上
	3	主要駅エレベーター等 設置事業	伊予三島駅および川之江駅においてエレベーター設置等の提案を行っており、実現を目指している。	予讃線	四国中央市	利便性の 向上
	4	JR八幡浜駅 案内表示の充実	時刻表や、観光施設への乗り継ぎ等の、案内表示をより分かりやすくする。	予讃線	八幡浜市 JR四国	利便性の 向上
	5	伊予鉄道松前駅前環境 整備事業	伊予鉄道松前駅前の駐車スペース、駐輪場等の周辺整備を行う。	予讃線	松前町	利便性の 向上
	6	JR今治駅 駅周辺の利便性向上	今治駅前への宿泊特化型ホテル「JRクレメントイン今治」の建設(2021年秋予定)	予讃線	JR四国	利便性の 向上
5年超	1	駅・電停バリアフリー化	駅や電停の乗り継ぎ空間のバリア解消 ※JR松山駅前電停のバリアフリー化は、駅の連続立体交差事業と併せて実施予定	予讃線	自治体 伊予鉄道 (株)	利便性の 向上



# 「高知県鉄道ネットワークあり方懇談会」運営体制

## 高知県懇談会設置の目的

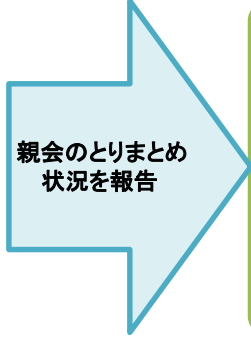
- ◆ 鉄道利用者の増加による新たな収益を上げるための方策を確立(公共交通全般から鉄道利用増にアプローチ)
- ◆ その方策を確立するため、民間事業者同士が鉄道利用の活性化策を協議して早期に実行(県がコーディネート)

## 親会のメンバー等

H31.4.25に立ち上げ

- JR四国、とさでん交通、土佐くろしお鉄道
- 高知県、高知県観光コンベンション協会
- 高知市、安芸市、南国市、四万十市、大豊町、四万十町(各地域公共交通会議等のメンバー)
- 四国運輸局(オブザーバー)

※第1回会議(H31.4.25):JR四国の現状、各交通事業者の利用促進策、今後の会議の進め方を確認  
 ※第2回会議(R1.10.9):ワーキンググループの意見をとりまとめ⇒R1.10.18に四国懇談会に概要を報告  
 ※メンバーは適宜追加し、必要に応じて有識者や関係団体から意見を聴取



四国における鉄道ネットワークのあり方懇談会Ⅱ (R1.10.18)

## 各グループの意見・進捗状況を報告

## 路線別ワーキンググループ

**JR予土線 (R1:6/10・8/27、R2:2/20)**  
参加者 延べ94名

**JR土讃線 (R1:7/31、R2:2/14)**  
参加者 延べ49名

※参加者:自治体、JR四国等の交通事業者、地域住民、観光関係者、学校関係者 等  
 ※メンバーは適宜追加し、必要に応じて有識者や関係団体から意見を聴取



- 高知県東部広域地域公共交通協議会
- ごめん・なはり線活性化協議会
- 高知県嶺北地域公共交通協議会
- 土佐くろしお鉄道中村・宿毛線運営協議会
- 予土線利用促進対策協議会(高知・愛媛両県)  
※R1.11.3~4 予土線全線開通45周年記念イベント開催(約730名参加)
- 四国新幹線整備促進期成会  
※R2.2.1シンポジウム「四国の新幹線を考えるin高知」開催(約700名参加)

## スケジュール

2019年度	4月	5月~7月	8月~9月	10月	11月~12月	1月	2月
親会	4/25設置			10/9WG意見とりまとめ 10/18四国懇談会に報告			
ワーキンググループ(WG)		活性化策の協議(6/10・7/31・8/27)			担当者協議		活性化策のとりまとめ(2/14・2/20)

今後もPDCAサイクルによる活性化策の進捗管理を実施

今後も、WGで出された様々な提案について、県は行司役としてイニシアティブをとり、具現化していく



# 「高知県鉄道ネットワークあり方懇談会」路線別WGの検討状況

◆交通事業者等の民間事業者同士が、鉄道利用の活性化策を連携して実行に移せるよう、下記のとおり路線別WGで協議を行い、取り組みを進めている

## 予土線WG

### 【構成メンバー】

- ・ J R 四国、土佐くろしお鉄道、高知西南交通、四万十交通
- ・ 県観光コンベンション協会、四万十町観光協会、奇想天外、沿線宿泊施設等の関係者
- ・ 県立四万十高等学校
- ・ 四万十市、四万十町
- ・ 県（中山間振興・交通部、産業振興推進部、観光振興部）
- ・ 四国運輸局（オブザーバー）

### 【検討状況】

#### 第1回WG R1.6.10 四万十町役場（参加者36名）

〈内容〉

- 1 これまでの利用促進策の共有
  - ・ J R 四国と高知県予土線利用促進対策協議会の取組内容を確認
- 2 グループワーク（4チームに分かれてディスカッション）
  - ・ これまでの利用促進策の検証
  - ・ 事業者が連携して取り組む予土線の活性化策の検討

#### 第2回WG R1.8.27 四万十町役場（参加者30名）

〈内容〉

- グループワーク（3チームに分かれてディスカッション）
- ・ 第1回WGで出されたアイデアを踏まえた活性化策の検討
  - ・ 地域資源を活用した観光利用促進策の検討
  - ・ 日常利用促進策の検討

#### 第3回WG

R2.2.20 四万十町農村環境改善センター（参加者28名）

〈内容〉

- 1 四国における鉄道NWのあり方に関する懇談会Ⅱの中間整理の確認
- 2 具体の活性化策のとりまとめ

## 土讃線WG

### 【構成メンバー】

- ・ J R 四国、土佐くろしお鉄道、とさでん交通
- ・ 県観光コンベンション協会、高知市観光協会
- ・ NPO交通まちづくり高知、高知の電車とまちを愛する会
- ・ 高知市、安芸市、南国市、いの町、大豊町
- ・ 県（中山間振興・交通部）
- ・ 四国運輸局（オブザーバー）

### 【検討状況】

#### 第1回WG R1.7.31 高知共済会館（参加者28名）

〈内容〉

- 1 これまでの利用促進策の共有
  - ・ J R 四国の取組内容を確認
- 2 グループワーク（3チームに分かれてディスカッション）
  - ・ これまでの利用促進策の検証
  - ・ 事業者が連携して取り組む土讃線の活性化策の検討

#### 第2回WG R2.2.14 文学館ホール（参加者21名）

〈内容〉

- 1 四国における鉄道NWのあり方に関する懇談会Ⅱの中間整理の確認
- 2 具体の活性化策のとりまとめ

### 【今後の進め方】

具体の活性化策の実行に向けた取り組みを推進



WG状況写真

# 令和元年度 予土線WGの取組状況

令和元年度の取り組み(3)

高知県資料

## ①WGで出された 主なアイデア (R1.6.10、8.27)

### 【地域資源を活用した観光 利用促進策】

- ・鉄道とバスの連携
- ・企画列車の運行
- ・車内放送に高校生や地域住民の声を録音
- ・ふるさと納税を活用したフリーきっぷの提供

### 【日常利用促進策】

- ・危機意識の見える化  
(例：青森県大鰐線)
- ・沿線自治体でフレックス  
タイムの導入
- ・列車内へのトイレ設置と  
駅舎バリアフリー化 等

## ②具体的な検討状況

### 検討テーマ

沿線地域も参画した鉄道利用を通じた地域の活性化策案の検討

### ○担当者協議の実施

〈検討メンバー〉

J R四国、沿線自治体、観光協会、予土線アドバイザー、県

- ・ R1.9.20  
第1回担当者協議
- ・ R1.11.29  
第2回担当者協議
- ・ R2.1.24  
第3回担当者協議

### ○愛媛県側との意見交換会

- ・ R1.12.25  
意見交換会実施  
(松野町で開催)

連携

## ③令和元年度 取組状況

### 具体的な活性化策

### 「観光利用促進策」及び「日常利用促進策」の検討結果

#### 【観光利用促進策】

#### 「体験や食をテーマとしたツアーのメニュー化」の考案

(高知県予土線利用促進対策協議会と連携)

- ・予土線と地域の観光資源を組み合わせたメニューを企画立案  
十川こいのぼり川渡し体験ツアー企画〈春〉  
※R2実施に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止  
※その他、季節に合わせたツアーを考案中(四万十川漁体験、予土線3兄弟の定例化 等)

#### 【日常利用促進策】

- 1 危機意識の見える化の実施
  - ・広報誌への掲載(四万十町広報 R1.11~R2.1掲載)
- 2 路線バス等と組み合わせた路線図づくり(R2予定)
  - ・予土線と路線バス等と組み合わせた路線図を作成
- 3 予土線などの公共交通PRの実施検討(R2予定)
  - ・沿線住民へのPR実施方法の検討(高齢者が集まる場でのPR等)

#### 【その他】

- J R四国ポケット時刻表への路線バス時刻の掲載(J R四国)
  - ・予土線沿線の路線バス(四万十交通)の時刻を掲載(R2.3)
- フレックスタイム制度の導入(四万十町)
  - ・予土線を利用して通勤ができる制度を創設(R1.6~)
- ダイヤ改正情報の事前共有(J R四国)
  - ・交通事業者や自治体等にダイヤ改正後の時刻を事前に周知(R2.1)

## その他関連した取り組み

### 【高知県予土線利用促進対策協議会】

〈概要〉沿線住民の意思を反映した予土線の運行存続のための利用促進を図り、もって産業・経済・教育・文化等地域の発展を図ることを目的とする

〈取組〉ホームページ情報発信、地域住民への利用助成、イベント開催、トロッコガイドへの助成 等

### 【JR四国と自治体等の連携による活性化策の実績】

- 鉄道ホビートレイン、海洋堂ホビートレイン、しまんトロッコの運行
  - ・予土線3兄弟イベント、スタンプラリー 等
- 予土線サイクル混乗試験(サイクルトレイン)
- 各交通事業者と連携した企画きっぷの発売
  - ・四国西南周遊レール&バスきっぷ、四万十・宇和海フリーきっぷ
  - ・駅から観タクン(海洋堂ホビー館と四万十川コース)

## ④令和2年度 取組予定

### WG及び担当者協議を実施

(新型コロナウイルスの影響を考慮しながら、PDCAによる進捗管理)

- 上記③の活性化策の実行に向けた協議を継続
  - ・体験や食をテーマとした、季節に合わせたツアー
  - ・路線図づくり、沿線住民へのPR
- WGで出された活性化策(案)(資料(5))を基に、新たな活性化策を具現化
- 高知県予土線利用促進対策協議会及び愛媛県予土線利用促進対策協議会との連携(よどせんとりてつマップの改定等)
- その他公共交通関連の協議会等との連携

# 令和元年度 土讃線WGの取組状況

令和元年度の取り組み(4)

高知県資料

## ①WGで出された 主なアイデア (R1.7.31)

### 【利便性向上策】

- 交通事業者間での連携
  - ・ダイヤ面（接続を合わせる等）
  - ・運賃面（共通乗車券等）
  - ・乗継案内（駅構内でのバス・電車案内等）
  - ・設備面（鉄道とバスの連携強化等）

### 【利用促進策】

- ・運賃面
- ・観光関係
- ・広報展開 等

## ②具体的な検討状況

### 検討テーマ

高知駅周辺での利便性向上策・利用促進策案の検討

### ○担当者協議の実施

〈検討メンバー〉  
JR四国、土佐くろしお鉄道、とさでん交通、高知市、県

- ・R1.12.6  
第1回担当者協議実施

連携

## その他関連した取り組み

### 【JR四国と自治体等の連携による活性化策の実績】

- 駅を中心としたまちづくり（高知駅、窪川駅）
  - ・高知駅：路面電車乗り入れ、駅前広場整備
  - ・窪川駅：駅隣接地に役場を整備、東西庁舎を自由通路で結ぶ
- 西佐川駅、斗賀野駅の駅舎を自治体へ譲渡し、自治体が活用
- 新駅の設置（小村神社前駅）
- ホームと車両の段差の改善（大田口駅、土佐穴内駅、角茂谷駅、新改駅）
- 1000型気動車トイレ設置
- 各交通事業者と連携した企画きっぷの発売
  - 〔本州方面〕
    - ・阪神往復フリーきっぷ（土佐くろしお鉄道等）
    - ・岡山自由席トク割回数券、岡山指定席トク割きっぷ（JR西日本） 等
  - 〔四国内〕
    - ・高知日帰り路面電車割引きっぷ（とさでん交通）
    - ・くろしおSきっぷ（土佐くろしお鉄道）
    - ・パースデイきっぷ（土佐くろしお鉄道、阿佐海岸鉄道）
    - ・ALL SHIKOKU Rail Pass（土佐くろしお鉄道、阿佐海岸鉄道、とさでん交通等） 等

## ③令和元年度 取組状況

### 具体的な活性化策

「高知駅周辺での利便性向上策・利用促進策」の検討結果  
※まずは沿線人口が多いエリアを中心に検討

### 【利便性向上策・利用促進策】

#### ◆来年度以降の導入に向けた検討を行うもの

- 1 交通事業者間のダイヤ面での連携
  - (1) 都市圏へのパターンダイヤ導入の検討
    - ・土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線との連携も検討
  - (2) 大杉駅の接続向上の検討
    - ・交通結節点の大杉駅の接続改善・強化について検討（高知県嶺北地域公共交通協議会）
- 2 交通事業者間の運賃面での連携の検討
  - ・高知～奈半利間のフリーきっぷによる利便性向上を検討

#### ◆導入が実現したもの

- 3 交通事業者間の乗継案内等での連携
  - ・JR特急列車が高知駅到着（岡山等からの下り線）時に、車内で路面電車の案内放送を実施(R2.3～)

### 【その他】

- ダイヤ改正情報の事前共有（JR四国(R2.1)）
  - ・交通事業者や自治体等にダイヤ改正後の時刻を事前に周知
- 後免駅のバリアフリー化（JR四国、土佐くろしお鉄道、県、市町村(R2予定)）
  - ・内方線付き点状ブロック等の整備
- 新型特急車両の導入（JR四国(R1.9～)、土佐くろしお鉄道(R2.8～)）
- 観光列車の導入（高知～窪川駅間）（JR四国(R2.7～)）
  - ・観光列車(志国土佐 時代の夜明けのものがたり)を活用した利用促進
- 高知駅前に宿泊特化型ホテル「JRクレメントイン高知」計画（JR四国(R2.11開業予定)）
- 安和駅敷地内に「集落活動センター」整備（須崎市(R2整備予定)）

## ④令和2年度 取組予定

WG及び担当者協議を実施

（新型コロナの影響を考慮しながら、PDCAによる進捗管理）

- 上記③の活性化策の実行に向けた協議を継続
  - ・パターンダイヤの導入
  - ・高知～奈半利間のフリーきっぷの導入
- WGで出された活性化策(案)(資料(5))を基に、新たな活性化策を具現化
- 公共交通関連の協議会等との連携

## 予土線の活性化策(案)

	【地域資源を活用した観光利用促進策】	【日常利用促進策】
1	車内放送は高校生や住民の声を録音	列車内のトイレ設置と駅舎バリアフリー化
2	企画列車の増強	沿線住民へのアンケート実施
3	海洋堂ホビー館との連携(駅ホームや車両内にフィギュア設置、スタンプラリー等)	ICカードの導入
4	鉄道とバスの連携(共通きっぷ、時刻表の集約等)	危機意識の見える化
5	駅からバス以外の移動手段の確立(サイクルトレイン、レンタサイクル、タクシーの活用)	免許返納制度の創設
6	ふるさと納税を活用したフリーきっぷの提供	沿線自治体でフレックスタイムの導入
7	各種企画列車の運行(大臼ツツ、地酒・地元食、スイーツ、皿鉢、十和バ、バ、ガ、カ、ボ、ン等)	
8	その他 (1)観光案内や周辺マップの充実 (2)拠点駅での観光メニュー化 (3)予土線3兄弟の土佐くろしお鉄道乗り入れ (4)パターンダイヤ化 (5)鉄橋を歩くツアー	

## 土讃線の活性化策(案)

	【利便性向上策】	【利用促進策】
1	【交通事業者間のダイヤ面での連携】 (1)ダイヤ調整 (接続駅で鉄道・バス・電車の時刻を極力合わせる) (2)パターンダイヤの導入	【運賃等】 (1)全体 ・昼間限定の割引回数券(駐車料金(高知市内500円)と往復料金が同等か、それ以下の割引設定) ・毎月1日限定で県内が7割で乗り放題 ・レギュラーに利用ポイント付与(他社カードポイントとの交換等) (2)通勤・通学 ◎サービス向上 ・通学定期券の分割購入制度(一括購入は高価) ・定期券利用の割引率アップ ・通学定期の発行基準の見直し (現状は自宅の最寄り駅からしか購入できない) ◎行政支援 ・通勤・通学定期への財政支援 ・高齢者(特に運転免許返納者)への財政支援 (高知市の「よさこいいきいきフリーパス」が、公共交通の活性化や外出支援に繋がっている)
2	【交通事業者間の運賃面での連携】 (1)鉄道・バス・電車の乗継割引、タビとの乗継割引 (2)空港リムジンバス・MY遊バスとの共通乗車券の発行 (3)鉄道・バス・タビの合同定期の発行 (4)ゾーン内均一運賃(他社含む)によるフリー乗車券の発行 (5)鉄道・バス・電車の共通定期の発行	(3)高齢者 ・運転免許返納者への格安サービス(回数券の発行等) ・高齢者への割引施策 ・高齢者向けツアーの企画販売(日帰りで鉄道⇄バス)
3	【交通事業者間の乗継案内等での連携】 (1)駅構内でのバス・電車の案内 (2)鉄道・バス乗継が1枚でわかる広報展開(同一時刻表)	【観光関係】 (1)自転車を活用した観光振興(サイクルトレイン等) (2)車窓がきれいな箇所(レアポイント)のPR (3)インスタ映えするPR (4)物語駅 (各駅に1話のQRコードがあり、数駅を周遊すれば物語が完結 ※季節ごとに物語を変える仕組み)
4	【交通事業者間の設備面での連携】 (1)Ma a Sアプリの導入 (2)鉄道・バス等で共通利用できるICカードの導入 (都市型ICカード導入の意見もあり) (3)バス待機場所の整備(駅での鉄道とバスの連携強化)	【広報展開】 (1)自治体広報誌等への時刻表の掲載 (2)鉄道・バス乗継が1枚でわかる広報展開(同一時刻表) (3)施設や観光地への公共交通アクセスパンフの作成 (4)公共交通を利用していない方へのPR強化 (5)駅・電停・バス停以外(わかや自治体庁舎等)でのPR強化 (6)企画切符のPR強化 (高知から高松・徳島等への割引乗車券が一般利用者に知られていない)
5	【設備等の充実・拡大】 (1)高知駅でのP&R拡大(高架下の有効利用) (2)車椅子の固定スペースの設置 (3)Wi-Fiの設置(駅構内・車両内) (4)車両内でのスマホ充電環境の整備 (5)接続駅の待合環境の整備(加エ・電源・冷暖房等)	
6	【その他】 (1)駅周辺の商業施設等と連携した移動手段の確立(高知駅からわかや卸団地(とさのさと・蔦屋書店)までのタビバス運行) (2)トクトク切符の域外購入制度の導入(関東方面に行くお得な切符は多度津駅からしか購入できない) (3)カーシェアリングとの連携事業の拡大(高知駅等) (4)自治体による駅の有効活用(観光案内所の設置等)	【その他】 (1)高齢者を対象とした利用実態調査(目的地・手段・経路) (2)高知駅東側の土地の有効活用(直販所の開設等) (3)駅での地域主体のイベントの開催 (4)企業や官公庁でフレックスタイムの導入